

取扱説明書

AV 一体型メモリーナビゲーション

AVIC-BZ500Ⅲ

お買い上げいただきありがとうございます

- ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、記載された内容に従って正しくお使いください。
- 本書は紛失しないよう車の中に保管してください。
- 本機の詳しい取扱・操作方法については、コンピューターや携帯電話からも調べいただけます。詳しくは、P.9をご覧ください。

はじめにお読み
ください

本機の使い方

基本操作

ナビゲーション

AV

ライブインフォ

ハンズフリー
通話




オプション品

付録




安全上のご注意 (安全にお使いいただくために必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 危険	「人が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って生じることが想定される内容」です。
 警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
 注意	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 注意 (警告を含む) しなければならない内容です。	 必ず行っていただく強制の内容です。
 禁止 (やってはいけないこと) の内容です。	

MN-003-001*

接続・取り付け

警告



DC24V車では使用しない
本機はDC12V \ominus アース車専用です。DC24V車で使用すると火災や故障の原因になります。



エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしていない
エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで製品や部品が飛ばされ死亡事故の原因になります。
車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。

取り付けやアース配線に、保安部品 (ステアリング、ブレーキ、タンクなど) のボルトやナットを使用しない

制御不能や発火、交通事故の原因となります。
視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない
交通事故やケガの原因となります。



電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない

電源コードの電流量容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。

アンテナは、保安基準に適合しない場所に貼り付けたり、再貼り付けや汎用の両面テープで貼り付けたりしない

視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。

車両メーカーが指定する禁止エリアに、取り付けや配線をしていない

カメラ装置などの動作を妨げるおそれがあり、交通事故の原因となります。車両メーカー、カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

適合車種以外には取り付けない

交通事故やケガの原因となります。適合車種については、販売店にお問い合わせください。



取付・取外し・配線は、専門技術者に依頼する

誤った取り付けや配線、取り外しを行うと、車に支障をきたす場合があります。

また、お客様ご自身による取付・配線はケガの原因となりますので、販売店などにご依頼ください。



強制

説明書に従って接続・取り付ける
説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。

コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁する

ショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類は運転操作を妨げないように引き回し固定する

ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと、事故の原因となります。

作業前はバッテリーの⊖端子を外す
+と-経路のショートにより、火災、感電やケガの原因となります。

パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認し、干渉しないように取り付ける

穴あけドリル等がパイプ類、タンク、電気配線などと干渉すると、火災、故障の原因となります。

付属の部品を使用し、固定する

付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げになり、事故やケガの原因となります。

取り付けと配線が終わったら、車の電装品が正常に動作するか確認する

正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

取り付け場所の汚れ（ごみ、ほこり、油）などを取り除き、しっかりと取り付ける

走行中に外れ、交通事故やケガの原因となります。乗車時に取り付け状態（接着やねじのゆるみなど）を点検してください。



注意



禁止

直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けない

内部温度が上昇し、火災や故障の原因となります。

本機を不安定なところに取り付けない

落下などによる事故やケガ、故障の原因となります。

コード類は途中で切断しない

コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が働かなくなり、火災の原因となります。

コード類の配線は、車体の高温部・金属部・可動部に接触させない

断線やショートによる火災や感電の原因となります。

ヒーターの吹き出し口の近くに設置しない

製品の通風口、放熱板を塞ぐ場所には設置しない

熱風が直接当たったり、放熱が不十分となり、内部温度が上昇し、火災や事故の原因となります。



禁止

水のかかるところや結露、ほこり、油煙の多いところに取り付けない

発煙や発火、故障の原因となります。



強制

アンテナやカメラは車幅や車の前後からはみ出さない場所に取り付ける
歩行者などに接触し、事故の原因となります。

アンテナコード等を車内に引き込む際は、雨水が侵入しないように配線する

雨水が車内に侵入すると、火災や感電の原因となります。

使用方法

警告



禁止

画面だけを見ながらの運転はしない
必ず目視による安全確認を行いながら運転してください。距離感の違いとカメラの死角により人や物にぶつかるおそれがあり、思わぬ事故の原因となります。

大きな音量で使用しない

警告音など車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

ネジなどの小物部品は乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

液体で濡らさない

発煙、発火、感電の原因となります。

ぶら下がったり、押したり引っ張ったりして、力を加えたりしない

ケガや車両の変形および故障の原因となります。

画面が映らない、音が出ない、音声割れる、歪むなどの異常・故障状態で使用しない

思わぬ事故や火災、感電の原因となります。



分解禁止

分解や改造をしない

交通事故や火災、感電の原因となります。



強制

実際の交通規制に従って走行する
ルート案内が実際の交通規制に反している場合があり、交通事故の原因となります。

ヒューズを交換するときは、規定容量（アンペア）のヒューズを使用する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

夜間、トンネルなど暗い場所で使用する場合、製品の明るさは運転に支障のないように適切に調整する

事故の原因となります。

注意



禁止

本機は自動車用途以外で使用しない
発煙や発火、感電やケガの原因となります。

本機の上に重いものを乗せたり、乗ったりしない
落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない

故障や火災の原因となります。

運転者は運転中に画像を注視しない
前方不注意となり交通事故の原因となります。

可動部やメディア挿入口に手や指、異物を入れない

ケガや感電、火災や故障の原因となります。



接触禁止

スピーカーやアンプの放熱部に手を触れない

やけどの原因となります。



注意

車両から乗り降りするときなどは、製品に頭部をぶつけないように注意する

ケガの原因となります。

異常時の問い合わせ

警告



強制

万一異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス相談窓口にご相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

ご使用上のご注意

取扱説明書に記載されている注意事項を守らないことによって生じる不具合に対しては、当社は責任を負いかねますので、ご注意ください。正しく取り扱わなかった場合や常識を逸脱した使いかたをされた場合などは保証の対象外となりますので正しくご使用ください。

モニターの開閉について



- 本機は、エンジンスイッチをOFF（本機の電源をOFF）にするとモニターが自動的に閉じます。エンジンを切るときは、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子様にはご注意ください。

▲注意

- SDカード出し入れ時などのモニターが完全に開いた状態では、エンジンスイッチをOFF（本機の電源をOFF）にしても自動的にモニターが閉じることはありません。

ナビゲーションの電源について

メモ

- ナビゲーションの電源スイッチはありません。

モニターの操作について



- モニターを開閉するときは、指などを挟まれないようにご注意ください。特にお子様にはご注意ください。ケガの原因となることがあります。

▲注意

- 本機を使用していないときは、モニターを閉じた状態にしてください。
- モニターの開閉を手動または工具を使って無理に行わないでください。モニターに強い力が加わると故障することがあります。
- モニターの開閉をするときに、物を挟まないようにご注意ください。物が挟まってしまったときは、挟まった物を取り除いてから開閉してください。

Discの使用について

▲注意

- 8 cmディスクには対応していません。また、アダプターを装着した8 cmディスクも絶対に使用しないでください。

SDカードの使用について

▲注意

- SDカードの出し入れを無理に行うと、本機やSDカードが破損する恐れがあります。ご注意ください。
- SDカードスロットには、SDカード以外のものを挿入しないでください。コインなどの金属物を挿入した場合、内部回路が破損し故障の原因となります。
- 安全のため、走行中はSDカードの出し入れをしないでください。
- SDカードが完全に挿入されていない状態で**CLOSE**にタッチしないでください。カードを破損させる恐れがあります（SDカードの挿入位置が正しくないまま**CLOSE**にタッチすると、モニターにメッセージが表示され、音声による案内が行われます）。

Bluetooth機器（携帯電話）について

▲注意

- Bluetooth対応の携帯電話でも、機種によっては本機との接続に制限が発生する場合があります。「本機と接続可能な通信機器について」(⇒P.6) をご覧になり、事前に確認してください。

ご使用前に知っておいていただきたいこと

緊急施設の検索やルート案内について

病院、消防署、警察署など、緊急施設の検索やルート案内については、本機に依存せず、各施設に直接ご確認ください。

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

メモ

- 環境保護のため、必要以上の停車中のアイドリングは避けましょう。

バッテリーを外すときのご注意

点検などでバッテリーを外すと、AUX設定、各AVソースの再生モード、渋滞情報などの設定が工場出荷時の状態に戻ります。必要な情報は事前に控えておいてください。

本機と接続可能な通信機器について

携帯電話、iPhoneやスマートフォンと本機をBluetooth接続すると、ハンズフリー通話をご利用できます。また、携帯電話がBluetooth Audio機能に対応している場合は、その機能もご利用できます。

SDカードについて

- 本機はすべてのSDカードの動作を保証するものではありません。
- SDカードへのアクセス中は、SDカードを抜かないでください。また、車のキースイッチ位置を変更しないでください。データが破損する恐れがあります。そのような行為において破損した場合、補償できません。
- SDカードは寿命があります。普通に使用していても正常に書き込みや消去などの動作をしなくなる場合があります。

- 本機でSDカードを使う場合は、専用フォーマットソフトでフォーマットを行ったSDカードを使用することを推奨いたします。

専用フォーマットソフトについてはSDアシエーションのホームページでご確認ください。

< <https://www.sdcard.org/jp/> >

- コンピューターの標準機能などでフォーマットしたSDカードは、本機が認識しない場合があります。
- SDカードにデータが保存されている場合、フォーマットを行うとデータが消去されます。フォーマット前にはデータのバックアップを作成することを推奨します。
- フォーマット作業によるSDカードの不具合修復を当社が保証するものではありません。また、本作業により、SDカードのデータ消失並びに、その他損害が発生した場合は、当社として責任を負えません。フォーマットソフトの説明書などをよくお読みになり、あくまで、お客様の判断・責任のもとでフォーマット作業を実行してください。

注意

- 地図SDカードは絶対にフォーマットしないでください。

著作権

次に記載するデータ及びプログラムの著作権は、弊社及び弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、別途規定されている場合を除いて、いかなる形式においてもこれらのデータ及びプログラムの全部または一部を複製、改変、解析などすることはできません。

- 本製品に収録されたデータ及びプログラム
- WEBやインターネット接続機器からダウンロードされたデータ及びプログラム

お客様が保存されたデータについて

- 本機の地図データ更新および修理において、お客様の登録されたデータの保証については、ご容赦ください。
- ナビゲーションに登録された電話帳・各種機能設定などの内容は、事故や故障・修理・その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

アフターサービス

本製品のアフターサービスは、お買い上げ販売店を窓口として実施しておりますが、移動先や引っ越しなどにより、お買い上げ販売店に修理が依頼できない場合には、修理受付窓口へご相談ください。

オートアンテナ車のご注意

本機をオートアンテナ車（モーターアンテナ車）に取り付けた場合、エンジンスイッチのON（本機の電源ON）に連動してアンテナが上がります。屋内ではご注意ください。

その他

- 製品の性能改善などを目的として、本機には動作履歴情報（測位結果など）を記録する機能があります。動作履歴情報にお客様の個人情報には含まれません。また、この情報は弊社指定の拠点および弊社指定の業務委託先でのみ解析ができるしくみになっており、お客様の同意をいただけた場合に限り使用いたします。
- 当社は、本製品がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。
- 本製品の仕様及び外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。その場合における変更前の本製品の改造、またはお取り換えのご要望には応じかねます。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

👍 こんな機能が使えます

はじめに

本機をより便利にお使いいただくために、事前に行っていただきたい設定や登録作業などがあります。



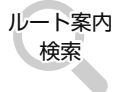
▶12ページ

ナビゲーション

地図操作、検索、ルート案内、渋滞情報の活用など多彩なナビゲーション機能をお使いいただけます。



▶40ページ



▶45ページ



▶50ページ

AV

多彩なメディアに対応。



☐「テレビを見る」



☐「Bluetooth Audioを使う」



▶58ページ

その他

携帯電話やバックカメラもお使いいただけます。



▶69ページ



▶67ページ



▶71ページ

▶ : 本書内の参照ページです。

☐ : WEB版のユーザーズガイドをご覧ください。

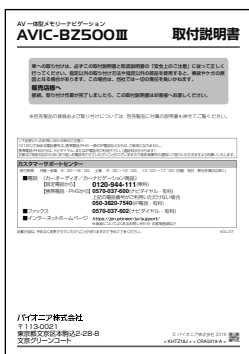
ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書のP.9をご覧ください。

取り扱い情報(説明書)の構成について

弊社は環境保護の観点から紙資源の使用量を見直し、本製品の取り扱い情報をいくつかの媒体を介して、お客様に提供しています。

取付説明書

製品に同梱されている説明書です。取り付けや接続を行うときにお読みください。機器構成の説明や他の機器との接続のしかたについても、ここで説明しています。



ユーザーズガイド

ユーザーズガイドでは、ナビゲーション、オーディオの使いかたや各種設定について説明しています。

コンピューター、iPhoneやスマートフォンを使って、PDF形式で閲覧・ダウンロードすることができます。インターネットに接続可能な環境で、下記URLを入力してアクセスしてください。

< <http://pioneer.jp/support/> >

ユーザーズガイド閲覧時の通信料は、お客様のご負担となります。また、掲載内容は、予告なく変更される場合があります。

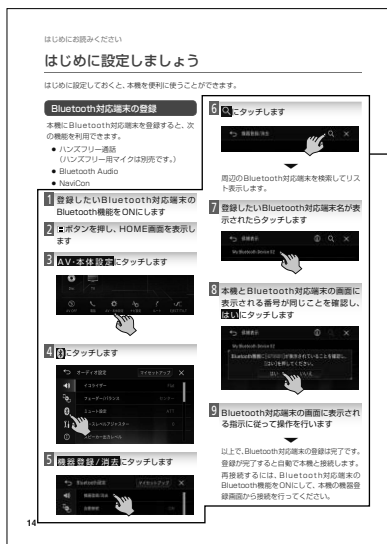
取扱説明書(本書)






製品に同梱されている説明書です。本機を使い始める前に、必ずお読みください。本機をご購入後、実際に使い始める前に知っておいていただきたいことや、ナビゲーション、オーディオなどの基本的な使いかたを説明しています。また、本機と組み合わせ可能なオプション品の紹介、困ったときの対処方法なども説明しています。



はじめにお読みください

本書の見かた



- **操作手順**
番号の順に操作すると、目的の機能を使うことができます。
- **本体ボタン**
 **ボタン** ナビゲーション本体のボタンを表記しています。
- **タッチキー/ファンクションキー**
 **ジャンル** 画面に表示される文字を表記しています。
- **指マーク**
 タッチするキーの場所を示しています。1つの画面で複数操作する場合は、丸数字で順番を表記しています。
- **参照**
本文中：「〇〇」(⇒P.XX)
文末：⇒「〇〇」(P.XX)
参照していただきたい箇所を表記しています。
(P.XX)：参照箇所のページ
「〇〇」：参照箇所のタイトル
- **注意**
 **注意** 機能を使う際の注意事項を表記しています。
- **メモ**
 **メモ** 操作手順の補足情報を表記しています。

● 各メニュー画面は工場出荷時の状態で表記しています。
● 本書で使用しているイラストや画面例は、実際の製品と異なることがあります。
● 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

用語

- 本書では、SDメモリーカード、SDHCメモリーカードおよびSDXCメモリーカードを総称して「SDカード」と表記する場合があります。
- 本書では、iPodおよびiPhoneを総称して「iPod」と表記する場合があります。
- 本書では、Android™ OS搭載のスマートフォンを「スマートフォン」と表記します。

本機の使いかたを調べるには

本書では、次の3つの探しかたで本機の使いかたを調べることができます。

- 目次(P.18～P.19) やりたい操作、使用目的から探せます。
- こんな機能が使えます(P.8) 本機の機能名から探せます。
- 索引(P.97～P.99) 機能名やキーワードから探せます。

初回起動時に設定が必要です

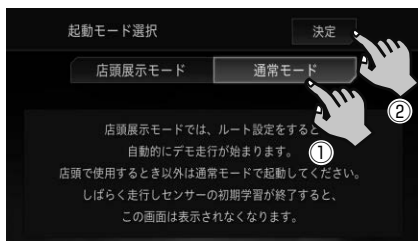
本機をはじめて起動すると、次の設定画面が表示されます。

- 起動モード選択画面
- マイセットアップ画面

画面の表示に従って、設定を行いましょう。

起動モードの設定

センサーの初期学習中にエンジンをかけると以下の画面が表示されます。**通常モード**にタッチし、次に**決定**にタッチしてください。



△注意

- **店頭展示モード**を選択しないでください。**店頭展示モード**を選択し**決定**にタッチしてしまった場合は、エンジンをかけ直してください。

メモ

- センサーの初期学習中とは、センサーを利用可能にするために車や取り付け状態に合わせて学習を開始している状態のことです。センサーが利用可能になると、初期学習は終了します。
- センサー学習について、詳しくは『ユーザーズガイド』の「各種情報の利用」をご覧ください。

続いて、マイセットアップ画面が表示されます。

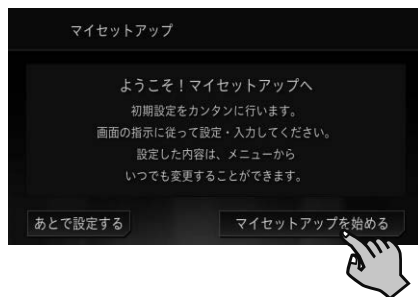
マイセットアップの設定

マイセットアップでは、本機の基本的な設定を画面の指示に従ってかんたんに行うことができます。本機をご購入後、はじめてお使いになるときは、自動的にマイセットアップが起動します。

メモ

- ルート案内中および有料道路走行中は、車両情報設定の**有料道路料金区分**とETC取付状態設定を行うことはできません。
- 本機の起動時以外や設定した内容を変更したい場合は、**AV・本体設定**からマイセットアップを行ってください。

1 マイセットアップを始めるにタッチします



以下の順に設定を行います。

各設定の詳細手順は、参照先の内容をご確認ください。

- 音量設定
ナビゲーションの案内音量、操作音を設定できます。➡「音量を調整する」(P.24)

- 自宅登録

自宅の場所を登録できます。

➡「自宅を登録する」(P.53)

- Bluetooth端末登録

Bluetooth Audioやハンズフリー通話などができます。➡「Bluetooth対応端末の登録」(P.14)

- 車両情報設定

車両情報を登録すると、有料道路の料金表示や駐車場の検索に登録情報を利用できます。

➡「車両情報の設定」(P.15)

- ETC取付状態設定

ETCユニットまたはETC2.0ユニットを使うための設定を行います。

マイセットアップ画面について

終了

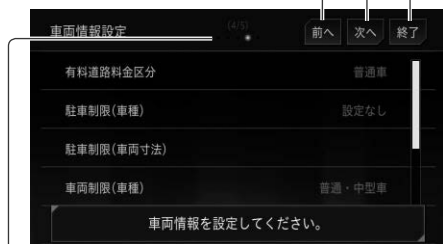
マイセットアップを終了します。

次へ

設定内容を保存し、次の画面を表示します。

前へ

設定をやり直す場合など、一つ前の画面を表示します。



マイセットアップ進捗状況

マイセットアップがどこまで進んでいるか確認できます。

はじめに設定しましょう

はじめに設定しておくで、本機を便利に使うことができます。

Bluetooth対応端末の登録

本機にBluetooth対応端末を登録すると、次の機能を利用できます。

- ハンズフリー通話
(ハンズフリー用マイクは別売です。)
- Bluetooth Audio
- NaviCon

1 登録したいBluetooth対応端末のBluetooth機能をONにします

2 田ボタンを押し、HOME画面を表示します

3 AV・本体設定にタッチします



4 Bluetoothにタッチします



5 機器登録/消去にタッチします



6 Qにタッチします



周辺のBluetooth対応端末を検索してリスト表示します。

7 登録したいBluetooth対応端末名が表示されたらタッチします



8 本機とBluetooth対応端末の画面に表示される番号が同じことを確認し、はいにタッチします



9 Bluetooth対応端末の画面に表示される指示に従って操作を行います

以上で、Bluetooth対応端末の登録は完了です。登録が完了すると自動で本機と接続します。再接続するには、Bluetooth対応端末のBluetooth機能をONにして、本機の機器登録画面から接続を行ってください。

メモ

- Bluetooth対応端末から本機を検索して登録することもできます。
- 使用する機能によって接続するプロファイルを設定する必要があります。詳しくは『ユーザーズガイド』の「Bluetooth接続設定」をご確認ください。

車両情報の設定

車両情報を登録すると有料道路の料金表示や駐車場の検索に車両情報を利用できます。また、ステアリングリモコンも設定できます。

1 **田**ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 **AV・本体設定**にタッチします



3 **車両情報設定**にタッチします



4 各種設定を行います

有料道路料金区分

有料道路で案内される料金区分を設定します。

駐車制限(車種)

車種の種類を設定します。

駐車制限(車両寸法)

車両の寸法(長さ、高さ、幅)を設定します。

車両重量

車両の重量を設定します。

総排気量

総排気量を設定します。

燃料単価

燃料単価を設定します。

ステアリングリモコン設定

ステアリングリモコンの設定を行います。

➔「ステアリングリモコンの設定」(P.16)

はじめにお読みください

ステアリングリモコンの設定

ステアリングリモコン設定を行うと、車両の純正ステアリングリモコンで本機を操作することができます。



- 別売のステアリングリモコンアダプターを接続した場合
 - 車両メーカーにかかわらず**アダプター**にタッチしてください。
- 別売のステアリングリモコンケーブルを接続した場合
 - あらかじめ用意されたプリセットを使用する場合は、車両のメーカー名にタッチしてください。
 - お好みの機能を割り当てる場合は、**学習**にタッチしてください。詳しくは『ユーザーズガイド』の「ステアリングリモコン設定」をご覧ください。

連携アプリについて

iPhoneまたはスマートフォンに専用アプリをダウンロードして、本機を便利に使うことができます。

NaviCon

NaviConは多彩な連携アプリで探した行先を、ワンタッチでカーナビに転送し目的地に設定できるお出かけサポートアプリです。

NaviCon (iPhone版 / Android版) は無料でご利用いただけます。

インストール方法はこちらをご覧ください。

NaviConサポートサイト :

< <http://navicon.com/> >



メモ

- NaviConを使用するには、本機とiPhoneまたは、スマートフォンをBluetooth接続する必要があります。

➔「Bluetooth対応端末の登録」(P.14)

目次

はじめにお読みください

ご使用上のご注意.....	5	初回起動時に設定が必要です.....	12
ご使用前に知っておいて いただきたいこと.....	6	●起動モードの設定.....	12
こんな機能が使えます.....	8	●マイセットアップの設定.....	12
取り扱い情報（説明書）の 構成について.....	9	はじめに設定しましょう.....	14
本書の見かた.....	10	●Bluetooth 対応端末の登録.....	14
本機の使いかたを調べるには.....	11	●車両情報の設定.....	15
		●ステアリングリモコンの設定.....	16
		連携アプリについて.....	17

本機の使い方

各部の名称とはたらき.....	20	音量を調整する.....	24
ディスクの入れかた・取り出しかた...21		●ナビゲーション（案内・操作音）の 音量.....	24
●ディスクの入れかた.....	21	●AV ソースの音量.....	25
●ディスクの取り出しかた.....	21	ディスプレイを調整する.....	26
SD カードの入れかた・ 取り出しかた.....	22	●画質を調整する.....	26
●SD カードの入れかた.....	22	●モニターの角度を調整する.....	26
●SD カードの取り出しかた.....	23	画面を一時的に消す（Display Off）...27	

基本操作

画面の操作方法.....	28	●Live Info メニュー.....	33
メニュー画面を操作する.....	30	●AV・本体設定.....	34
●メニュー画面を切り換える.....	30	●ナビ設定.....	34
●地図画面でインスタントメニュー画 面を表示する.....	31	●携帯電話メニュー.....	34
●HOME 画面.....	32	設定の初期化.....	35
●NAVI メニュー.....	32	メニュー画面のカスタマイズ.....	37
●AV メニュー.....	33	リスト画面の操作.....	39

ナビゲーション

現在地の地図（現在地画面）を表示する ... 40	● 次の案内地点を確認する 48
ステータスバーの見かた 40	ルートを消去する 48
地図の表示をカスタマイズする （マルチレイヤマップ） 41	安全運転情報を表示する 49
地図の操作 43	渋滞情報を確認する 50
● 地図を動かす 43	地図画面のメニュー操作 51
● 地図の表示スケールを変更する 43	● インスタントメニュー 51
● 地図の表示モードを変更する 44	● ショートカットメニュー 51
目的地を検索してルートを設定する ... 45	場所を登録する 52
ルート案内中の地図画面の見かた 47	自宅を登録する 53
● 交差点案内の表示 47	ナビゲーションの機能を設定する 54
● ルート案内中の主な機能 47	● 地図設定 54
	● ナビ機能設定 55

AV

音楽や映像を再生しよう 58	● 本体のボタンで操作する 60
● AV ソースを切り換える 58	AV ソース画面の見かた 61
● AV ソースを OFF にする 59	● ソース別設定を行う 61
AV ソースを再生する 60	オーディオ設定 62
● タッチキーで操作する 60	再生できるファイルとメディアの種類 ... 64

ライブインフォ

ライブインフォを使ってみよう 67
● ライブインフォ通知画面の見かた 67
● ライブインフォ情報画面の見かた 67
● ライブインフォ通知を設定する 68
● 過去のライブインフォ情報を確認する ... 68

ハンズフリー通話

ハンズフリー通話をしてみよう 69
● 電話のかけかた 69
● 電話の受けかた 69
● Siri を使って電話をかける 70

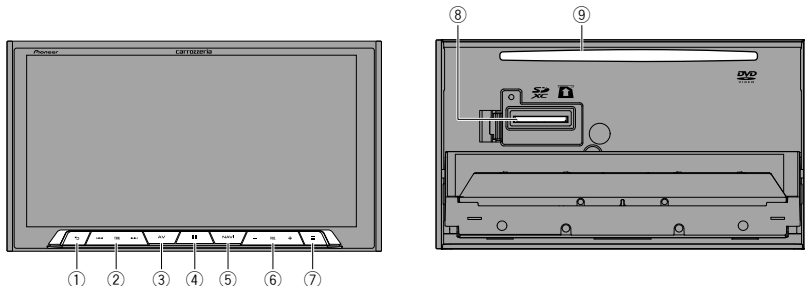
オプション品

オプション品を使って本機をより楽しもう ... 71
ドライブレコーダーを使ってみよう ... 73
● ドライブレコーダーリンク機能について ... 73
● ドライブレコーダーの映像を表示する ... 74

付録

故障かな？と思ったら 75
エラーメッセージと対処方法 82
取り扱い上のご注意 87
電波に関するご注意 90
保証書とアフターサービス 91
仕様 92
VICS 情報有料放送サービス契約約款 ... 94
索引 97

各部の名称とはたらき



各部の名称		はたらき	
①		モニターが閉じている <ul style="list-style-type: none"> ● 左上にが表示された画面で押すと、前の画面に戻ります。 ● ディスク挿入時に長く押すと、モニターが開き、ディスクが出てきます。 モニターが開いている <ul style="list-style-type: none"> ● モニターが閉じます。 ● ディスク挿入時に長く押すと、ディスクが出てきます。 	
②			<ul style="list-style-type: none"> ● 再生中の曲やチャプターを変更します。 ● 長く押すと、曲や映像の早戻し/早送りをします。 ● ラジオの周波数の調整や、テレビの放送局の変更をします。
③		AV画面表示中	<ul style="list-style-type: none"> ● AVメニュー画面を表示します。 ● 長く押すと、AVソースをOFFにしたあと、ソースOFF画面を表示します。
		AV画面以外表示中	<ul style="list-style-type: none"> ● AVソース画面を表示します。 ● AVソースがOFFのときはAVメニュー画面を表示します。 ● 長く押すと、AVソースをOFFにしたあと、ソースOFF画面を表示します。
④			<ul style="list-style-type: none"> ● HOME画面を表示します。 ● 長く押すと、画質調整画面を表示します。
⑤			<ul style="list-style-type: none"> ● 現在地画面を表示します。 ● 現在地画面を表示しているときは、表示中の地図のスケールを登録スケールにします。 ● 長く押すと、画面を消灯します。
⑥			<ul style="list-style-type: none"> ● AVソースの音量を調整します。 ● 着信中または通話中の音量を調整します。
⑦			<ul style="list-style-type: none"> ● あらかじめ割り当てた機能を実行します (カスタムメニューダイレクト)。 ● 長く押すと、カスタムメニュー画面を表示します。
⑧	メディア用SDカードスロット		<ul style="list-style-type: none"> ● SDカードが挿入できます。
⑨	ディスク挿入口		<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクが挿入できます。

ディスクの入れかた・取り出しかた

ディスクの入れかた

1 電源ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 **EJECT/TILT** にタッチします

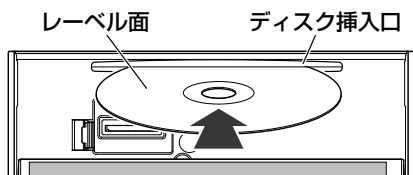


3 電源ボタンにタッチします



モニターが開きます。

4 ディスク挿入口にディスクを差し込みます



ディスクは途中まで差し込むと自動的に引き込まれ、モニターが閉じます。

ディスクの取り出しかた

1 電源ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 **EJECT/TILT** にタッチします



3 電源ボタンにタッチします



モニターが開き、ディスクが出てきます。

4 ディスクを取り出し、**CLOSE** にタッチします



モニターが閉じます。

メモ

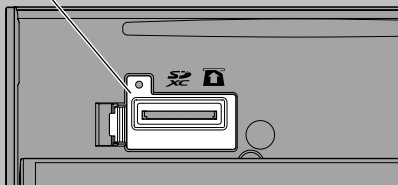
- モニターが開いているときに電源ボタンを長く押すと、ディスクが出てきます。
- モニターが閉じているときに電源ボタンを長く押すと、モニターが開き、ディスクが出てきます。

SDカードの入れかた・取り出しかた

△注意

- 地図 SD カードスロット保護カバーは、地図 SD カードを交換するときのみ外してください。

地図 SD カードスロット保護カバー



SDカードの入れかた

- 1 田ボタンを押し、HOME画面を表示します

- 2 EJECT/TILT にタッチします

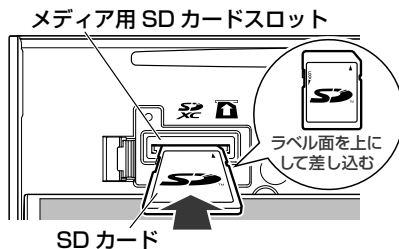


- 3 田にタッチします

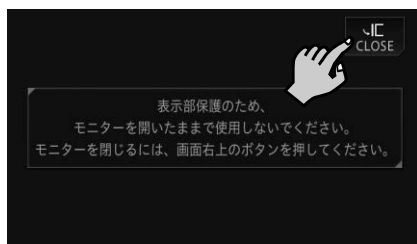


モニターが開きます。

- 4 “カチッ” と音がするまで SD カードを差し込みます



- 5 CLOSE にタッチします



モニターが閉じます。

SDカードの取り出しかた

▲注意

- SDカードを取り出す場合は、必ず次の手順のとおりにご操作してください。SDカード内のデータが破損する場合があります。
- 取り出したSDカードは、専用ケースに入れるなどして、保管してください。また、誤ってお子様が飲み込むなどのことがないように、保管場所にもご配慮ください。

1 田ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 EJECT/TILTにタッチします

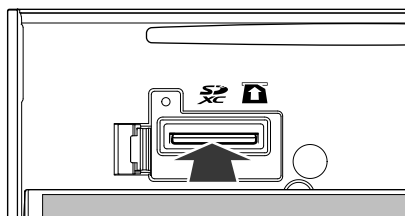


3 田にタッチします

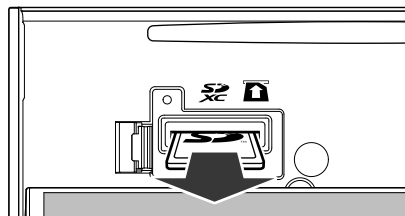


モニターが開きます。

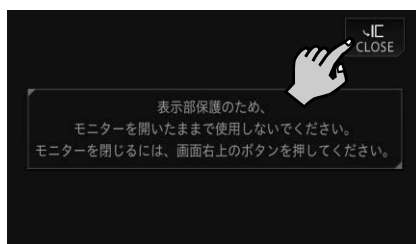
4 “カチッ”と音がするまでSDカードを押し込んで放します



SDカードが押し出されます。



5 SDカードをまっすぐ引き抜き、CLOSEにタッチします



モニターが閉じます。

音量を調整する

ナビゲーション(案内・操作音)の音量

1 田ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 AV・本体設定にタッチします



3 音量設定にタッチします



4 案内音量と操作音を調整します



- 案内音量
次の項目の音量を調整します。
 - ナビゲーション音声案内
 - 操作音
 - ETCまたはETC2.0ユニット音声案内
 - ライブインフォ通知
- 操作音
本機の操作音のON/OFFを設定します。

AVソースの音量

音量調整

1 本体の[VOL]ボタンを押します

+を押すと音量が上がり、-を押すと音量が下がります。

メモ

- ナビゲーションの音声案内時のAVソースの音量設定は、ミュート設定から行ってください。➡「オーディオ設定」(P.62)

音量を一時的に消す(ミュート)

1 本体の[VOL]ボタンを押します

2 Muteにタッチします



メモ

- [VOL]ボタンを押すと、元の音量に戻ります。

ディスプレイを調整する

画質を調整する

好みの画質に調整することができます。

メモ

- 表示している画面ごとに設定できますが、同じ設定になるものは以下のとおりです。
 - CD、DVD-Video、DVD-VR、ROM-Video
 - AUX、ドライブレコーダー
 - USB1、USB2、SD
 - メニュー、AV・本体設定、ナビ設定、地図画面

1 **■** ボタンを長く押しします

2 調整したい項目にタッチします



3 **◀** または **▶** にタッチします



▲ または ▼ にタッチすると調整項目を変更できます。

モニターの角度を調整する

画面が見やすいようにモニターの角度を調整することができます。

1 **■** ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 **EJECT/TILT** にタッチします



3 **◀** または **▶** にタッチします



タッチするたびに、モニターの角度が変わります。

メモ

- 角度調整したモニターは、次にエンジンスイッチをON（本機の電源をON）にしたとき自動的に調整した角度になります。

画面を一時的に消す (Display Off)

夜間の車内で画面が点灯したままだとまぶしい場合など、一時的に画面を消すことができます。

1 **NAVI** ボタンを長く押します



画面が一時的に消えます。

 メモ

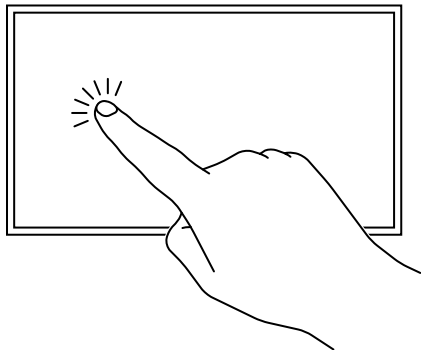
- Display Off中に画面にタッチすると、元の画面に戻ります。
- 本機の状態によって、Display Off画面が自動的に解除される場合があります。

画面の操作方法

画面のタッチ操作について説明します。

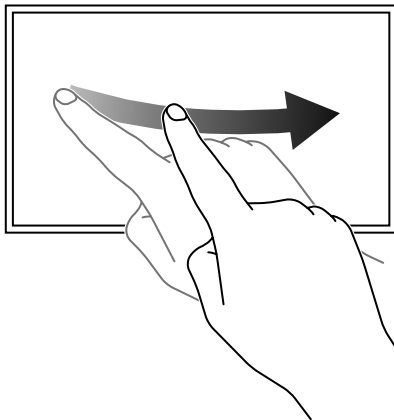
タッチ

タッチキーやファンクションキーを指で軽くたたきます。



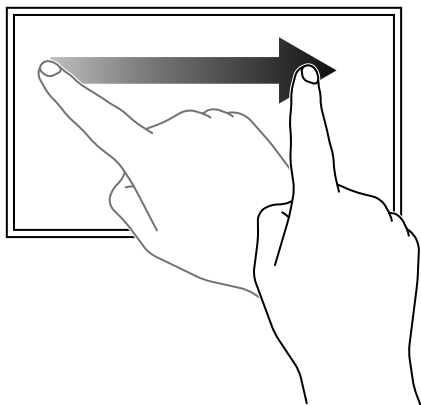
フリック

タッチしたまま、移動したい方向へ指を軽くはじきます。



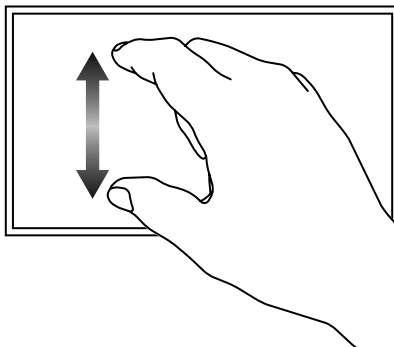
ドラッグ

タッチしたまま、目的の場所まで指をスライドします。



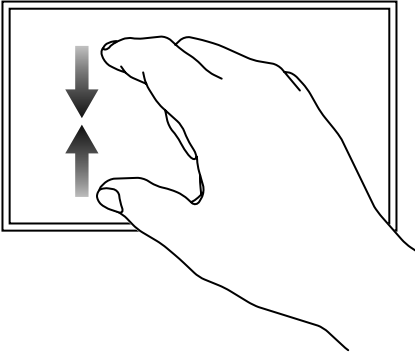
ピンチアウト

2本の指でタッチしたまま指を開きます。



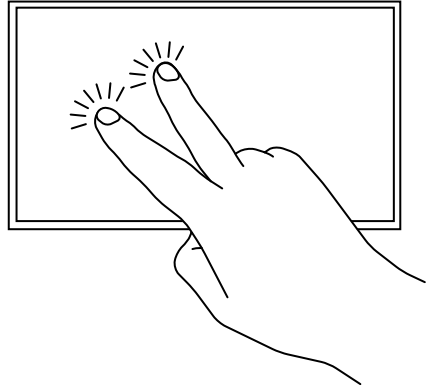
ピンチイン

2本の指でタッチしたまま指を閉じます。



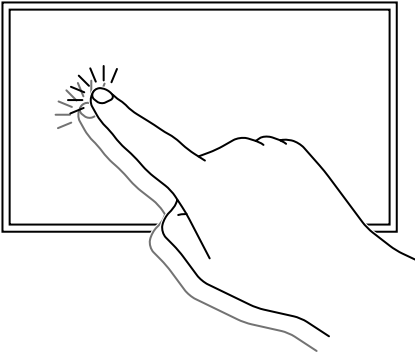
2点タッチ

2本の指を離して軽くたたきます。



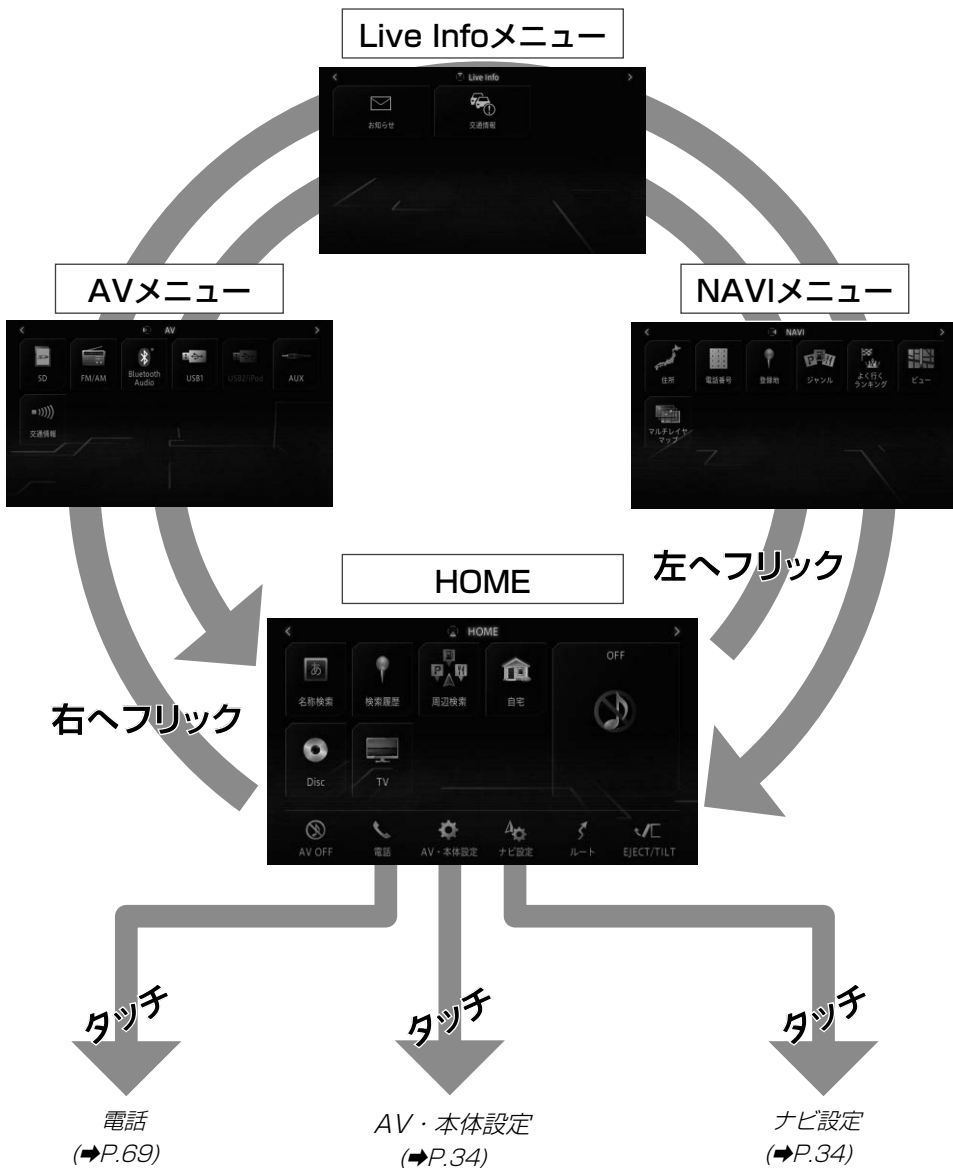
ダブルタップ

指の位置を動かさずに2度指で軽くたたきます。



メニュー画面を操作する

メニュー画面を切り換える



地図画面でインスタントメニュー画面を表示する

インスタントメニュー



地図画面表示中に画面上部中央のタブを下方方向にドラッグすると表示されます。
「インスタントメニュー」(➡P.51)をご確認ください。

HOME画面

HOME画面下部には、AVやナビゲーションの設定や電話のメニューなどの機能ボタン（ファンクションキー）が集められています。

また、NAVIメニューやAVメニュー、Live Infoメニューから、よく使うファンクションキーをHOME画面に移動できます。

→「メニュー画面のカスタマイズ」(P.37)



名称検索 (NAVIメニュー)

施設のヨミ仮名を入力して検索します。

検索履歴 (NAVIメニュー)

今までに検索した場所の履歴から検索します。日付順、自車位置またはスクロール地点に近い順、ヨミ順などで検索できます。

周辺検索 (NAVIメニュー)

自車の位置または地図をスクロールさせた位置やルート周辺から特定の施設を検索します。

自宅 (NAVIメニュー)

現在地やスクロール地点、検索結果地点などを、自宅として登録できます。登録済みの場合は自宅へのルート探索を行います。

Disc (AVメニュー)

挿入されているディスク (DVD、CD、ROMなど) を再生できます。

TV (AVメニュー)

ワンセグ放送を視聴できます。

AV情報(例:OFF、SDなど) (Live Infoメニュー)

現在再生中のソースの情報を表示します。

AV OFF

AVソースの再生や視聴を中止することができます。

電話

電話をかけることができます。また、電話をかけるための設定ができます。

AV・本体設定

オーディオ機能や、製品本体のシステム・機能の設定ができます。

ナビ設定

ナビゲーション機能の設定ができます。

ルート

ルート再探索やルート消去などルートに関する操作ができます。

EJECT/TILT

ディスクやSDカードの挿入や取り出し、モニターの角度調整ができます。

NAVIメニュー

NAVIメニューには、場所を探すためのさまざまなメニューが集められています。



住所

住所を入力して検索します。

電話番号

電話番号を入力して検索します。

登録地

登録した場所から検索します。日付順や自車位置またはスクロール地点に近い順、ヨミ順などで検索できます。

ジャンル

ジャンルから絞り込んで検索します。

よく行くランキング

ルートを設定し到着した回数が多い場所10件の中から検索できます。

ビュー

地図の表示モードを変更できます。

マルチレイヤマップ

地図画面にマーク、アイコン、ロゴや各種情報を表示するかどうかを設定できます。

AVメニュー

AVメニューには、音楽や映像などのオーディオに関するメニューが集められています。



SD

SDカードに保存した音楽ファイル、映像ファイルや画像ファイルを再生できます。

FM/AM

ラジオが聴けます。

Bluetooth Audio

Bluetooth機器内の音楽ファイルを再生できます。

USB1

USBメモリーに保存された音楽ファイル、映像ファイルや画像ファイルを再生できます。

USB2/iPod

iPhone / iPodの音楽ファイルや、USBメモリーに保存された音楽ファイル、映像ファイルや画像ファイルを再生できます。

AUX

ビデオカメラなどの外部機器の映像や音声を再生できます。

Drive Recorder

ドライブレコーダーの映像を表示したり、録画した動画を再生したりできます。

交通情報

幹線道路などで放送されているAMの交通情報を聴くことができます。

メモ

- **Drive Recorder**は、AUX設定を変更すると選択できます。➡「ドライブレコーダーリンク機能について」(P.73)

Live Infoメニュー

Live Infoメニューでは、過去の通知情報を確認できます。



交通情報

ルート案内時に取得した、ルート前方の渋滞情報や規制情報を表示します。

AV・本体設定



オーディオ機能の設定ができます。



DVDやTVなどの設定ができます。



SDのスライドショー設定やドライブレコーダー接続設定などができます。



Bluetooth接続の設定ができます。



案内音量やライブインフォ、オプション品などの設定ができます。

本機のプログラムや地図のバージョンや本機の接続状態など、本機に関するさまざまな情報を確認できます。

ナビ設定



地図の表示設定を変更できます。



ルートを設定する際のさまざまな条件を設定できます。



交通情報を取得するための設定ができます。



自転車位置の修正、道路種別の切り換えができます。



登録地などナビゲーション本体に保存したデータの編集ができます。

携帯電話メニュー

携帯電話メニューには、携帯電話機能に関するメニューが集められています。



プリセットダイヤルに登録した電話番号（相手）に、リストから素早く発信できます。



現在接続中の携帯電話の電話帳を表示し、選んだ相手に発信できます。



本機と携帯電話が接続中に発信または着信された電話番号の履歴をリスト表示し、選んだ番号に発信できます。



ダイヤル発信画面を表示し、10キーを使って電話番号を入力し、その番号に発信できます。



iPhoneを接続したときのみ使えます。Siriを呼び出し、携帯電話の電話帳に登録してある相手に発信できます。

設定の初期化

ご購入後に設定した内容を工場出荷時の状態に戻せます。

AV・本体設定の初期化

△注意

- 工場出荷状態に戻すを選択すると、AV・本体設定だけではなくナビ設定もすべて初期化されます。

1 田ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 AV・本体設定にタッチします



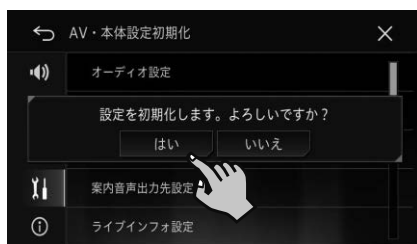
3 田→AV・本体設定初期化にタッチします



4 初期化したい項目にタッチします



5 はいにタッチします



選択した設定が工場出荷時の状態に戻ります。

ナビ設定の初期化

△注意

- **工場出荷状態に戻す**を選択すると、ナビ設定だけではなくAV・本体設定もすべて初期化されます。

1 **HOME**ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 **ナビ設定**にタッチします



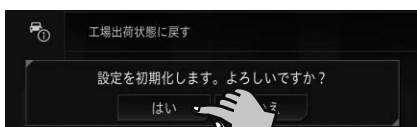
3 **ナビ設定初期化**にタッチします



4 初期化したい項目にタッチします



5 **はい**にタッチします



選択した設定が工場出荷時の状態に戻ります。

メニュー画面のカスタマイズ

メニュー画面のファンクションキーをお好みに合わせてカスタマイズすることができます。

基本操作

ファンクションキーの並び替え

それぞれのメニュー画面内でファンクションキーの並び順を変更できます。

1 並び替えたいメニュー画面を表示します

2 移動させたいファンクションキーを長くタッチします



3 移動させたい位置までドラッグします



4 **完了**にタッチします



ファンクションキーの移動

各メニューのファンクションキーをHOME画面に移動できます。また、HOME画面のファンクションキーをそれぞれのメニューへ移動できます。ここでは、AVメニュー画面からHOME画面にファンクションキーを移動する手順を例に説明いたします。

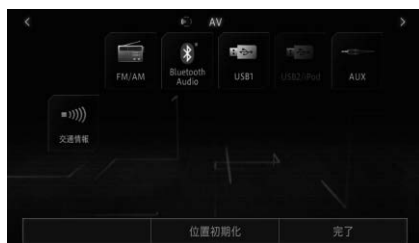
メモ

- HOME画面に空きスペースがない場合は、ファンクションキーを移動できません。
- **AV OFF、電話、AV・本体設定、ナビ設定、ルート、EJECT/TILT**は、移動できません。

1 HOME画面に表示させたいファンクションキーに長くタッチします



2 HOMEに移動にタッチします



3 完了にタッチします



ファンクションキーサイズの変更

HOME画面ではファンクションキーサイズを変更できます。

メモ

- HOME画面に空きスペースがない場合は、ファンクションキーサイズの拡大はできません。
- **AV OFF**、**電話**、**AV・本体設定**、**ナビ設定**、**ルート**、**EJECT/TILT**は、サイズの変更はできません。

1 変更したいファンクションキーを長くタッチし、キーの枠をドラッグします

ファンクションキーの枠に表示される○の部分に触れてからドラッグしてください。



2 完了にタッチします



ファンクションキーの位置やサイズを初期化する

ファンクションキーの位置やサイズを工場出荷時の状態に戻すことができます。

1 ファンクションキーに長くタッチします



2 位置初期化にタッチします



3 はいにタッチします

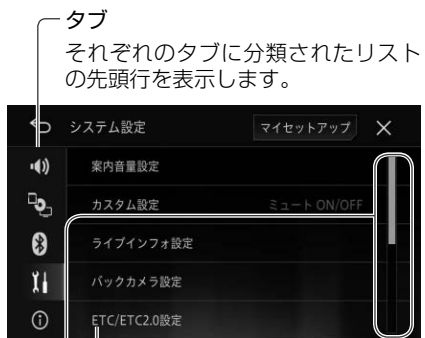


初期化されます。

リスト画面の操作

本機では、使っている機能に応じていろいろなリスト画面が表示されます。それぞれの使いかたを覚えておくと便利です。

基本的なリストの操作



スクロールバー
リスト項目数の目安とリストの現在位置を示します。

その他のリスト操作

50音インデックス付きリスト



ポップアップ文字送りタッチキー
タッチすると文字を送ります。

インデックスバー
インデックスバーをタッチまたはドラッグすると、選んだ文字がポップアップ表示されます。

ポップアップメニューの操作



ポップアップメニュー
選んだ項目に選択肢がある場合に表示されます。

並べ替えの操作



並べ替え
タッチすると並べ替えのポップアップメニューが表示されます。並べ替えの種類は、表示している画面によって異なります。

チェックタイプリストの操作



チェックマーク
タッチするとチェックマークが表示され、選択中であることを示します。もう一度タッチすると選択が解除されます。

現在地の地図（現在地画面）を表示する

1 NAVIボタンを押します

現在地の地図（現在地画面）が表示されます。

情報ウィンドウ

タッチするたびに、市区町村名、走行道路名、緯度経度、AVソース情報を切り換えることができます。交差点案内表示中およびVICS WIDE 緊急情報を受信した時は切り換えることができません。

インスタントメニュー表示タブ

下にドラッグすると、ナビ機能のメニューが表示されます。(⇒P.51)

渋滞情報
(⇒P.50)

方位表示

スケール表示

現在の時刻



自車マーク

軌跡表示

AV サイドビュー表示

ステータスバー

ステータスバーの見かた

本機の設定や接続状況に応じて、地図画面下部にアイコンが表示されます。

アイコン	表示内容
	FM VICSの取得時間が表示されます。
	ビーコン情報の取得時間が表示されます。
	本機に挿入されたSDカードが認識されると表示されます。
	音声案内をOFFにした場合に表示されます。
	別売のETCユニットやETC2.0ユニットが接続されていて、ETCカードが挿入されている場合に表示されます。ETCカードの有効期限が切れている場合は、赤いアイコンが表示されます。
	別売のETC2.0ユニットが接続されていて、ICカードが挿入されている場合に表示されます。
	本機に登録されたBluetooth機器とBluetooth接続中に表示されます。機器1（ハンズフリー1）と機器2（ハンズフリー2）それぞれの電波強度と電池残量が表示されます。
	NaviCon連携機器を登録すると表示されます。

地図の表示をカスタマイズする(マルチレイヤマップ)

お好みに応じて地図画面上に表示されるマークやアイテム、タッチキーの表示を設定できます。詳しい設定方法は、『ユーザーズガイド』の「地図画面の操作」をご覧ください。

1 **NAVI** ボタンを押して現在地画面を表示します


2 画面上部中央のタブを下にドラッグします



インスタントメニューが表示されます。

3 **マルチレイヤ** にタッチします



4  にタッチして、表示を設定します



 **メモ**

- NAVIメニューからマルチレイヤマップを選択することもできます。

マルチレイヤマップ項目一覧

設定項目	設定内容
ロゴマーク	さまざまな施設（コンビニなど）のロゴマークの表示を設定します。
走行軌跡	走行軌跡の表示を設定します。
100mスケール一方通行	地図の表示スケールを100 mスケールにした際の一方通行マークの表示を設定します。
渋滞情報（渋滞・混雑）	渋滞情報の表示を設定します。
渋滞情報（順調）	渋滞していない道路情報の表示を設定します。
VICS規制情報	規制情報と規制区間の表示を設定します。
駐車場情報マーク	駐車場の情報マークの表示を設定します。
区間旅行時間	区間旅行時間マークの表示を設定します。
拡張事象規制	VICS WIDEによって提供される拡張事象規制情報と発生位置の表示を設定します。
ゾーン30*	都道府県警によって走行速度が30 km/h以下に制限された区域（「ゾーン30」）の表示を設定します。
ヒヤリハット地点*	急停車が頻発する場所や事故多発地点など、運転に注意が必要な地点にマークの表示を設定します。音声案内の設定も行うことができます。
冠水注意地点*	アンダーパスなど道路が冠水する危険のある地点の表示を設定します。
一時停止地点*	予想進路上にある一時停止地点マークの表示を設定します。案内音の設定も行うことができます。
スケール変更	スケールを変更するためのタッチキー（広域、詳細）の表示を設定します。
渋滞	渋滞を確認するための渋滞キーの表示を設定します。
時計	現在時刻の表示を設定します。
情報ウィンドウ	情報ウィンドウの表示を設定します。
AVサイドビュー	AVサイドビューに切り換えるタッチキーの表示を設定します。

※：設定方法は、「安全運転情報を表示する」(➡P.49)をご覧ください。

地図の操作

地図を動かす

1 **NAVI** ボタンを押して現在地画面を表示します

2 画面をタッチ、ドラッグまたはフリックします



2Dマップを表示している場合は、カーソル位置を微調整できます。

3 **微調整** にタッチします



4 矢印にタッチしてカーソルをスクロールします



地図の表示スケールを変更する

1 **NAVI** ボタンを押して現在地画面を表示します

2 **詳細** または **広域** にタッチします



地図の表示スケールが変更されます。

3 スケールゲージを上下にドラッグします



地図の表示スケールが変更されます。

メモ

- 画面をピンチアウトまたはピンチインしても表示スケールを詳細または広域に変更できます。
- ダブルタップや2点タッチしても、表示スケールを詳細または広域に変更できます。
- 地図の表示スケールを登録すると、現在地画面を表示中に「NAVI」ボタンを押すことで、表示したスケールに切り換えることができます。表示中の地図モードによって、それぞれ表示スケールを登録できます。登録方法は、『ユーザーズガイド』の「地図画面の操作」をご覧ください。

地図の表示モードを変更する

5種類の表示モードからお好みのモードを選ぶことができます。

- ノーマルビュー
平面的な地図を表示します。
- スカイビュー
都市部など、場所によって立体的な地図を表示します。
- ツインビュー
地図画面を2分割で表示します。地図のスケールを変更できます。
- AVサイドビュー
画面を2分割し、AVソース画面と地図画面を表示します。
- ハイウェイモード
有料道路専用の画面を表示します。

1 「NAVI」ボタンを押して現在地画面を表示します

2 画面上部中央のタブを下にドラッグします



インスタントメニューが表示されます。

3 ビューにタッチします



4 お好みのモードにタッチします



目的地を検索してルートを設定する

ここでは、ジャンル検索を例に成田空港を目的地としたルートを設定します。他の検索方法については、『ユーザーズガイド』の「場所を探す」をご覧ください。

1 田ボタンを押し、HOME画面を表示します

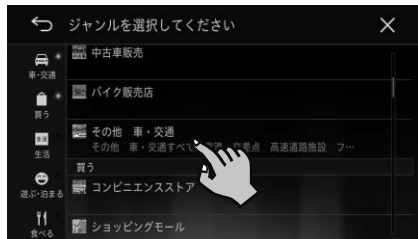
2 HOME画面を左にフリックして、NAVIメニュー画面を表示します



3 ジャンルにタッチします



4 車・交通にタッチし、画面をスクロールしてその他 車・交通にタッチします



5 空港→都道府県を指定して探すにタッチします



6 た→千葉県にタッチします



7 な→成田市にタッチします



8 成田国際空港(成田空港)→
ここへ行くの順にタッチします



9 案内開始にタッチします



成田空港までのルート案内が始まります。



行き先までのルートが設定されると、設定ルートは明るい緑色で表示されます(細街路はピンク色、有料道路は明るい青色で表示されます)。

目的地付近(成田空港付近)に到着すると、ルート案内は終了します。

ルート案内中の地図画面の見かた


到着予想時刻

タッチするたびに、表示内容が切り替わります。

- ① 目的地までの距離・到着予想時刻
- ② 直近の立寄り地までの距離・到着予想時刻
- ③ 出発時刻・走行開始から現在までの経過時間

ルートインフォメーション

2つ先までの案内地点の距離、進行方向、次の案内地点の名称が表示されます。

矢印（例：）にタッチするたびに、最大5カ所先までの案内地の音声案内と地図表示を順に行います。



ルート

目的地の方向

ナビゲーション

交差点案内の表示

交差点に近づくとき地図の表示が自動的に切り換わり、交差点周辺の地図が拡大表示されます。



ルート案内中の主な機能

オートリルート

案内中のルートから外れた場合、自動的にルートを再探索します。



メモ

- 交差点案内表示は「拡大図」と「アローガイド」の2種類から選べます。

➡「ナビゲーションの機能を設定する」(P.54)



ルートアドバイザー

交通規制や渋滞を回避するような新しいルートが見つかったら、「新しい候補ルートが見つかりました」または「渋滞考慮オートリルートを行いました」と音声案内が流れ、新しいルートが表示されます。



次の案内地点を確認する

ルートインフォメーションにタッチすると、次の案内地の音声案内が行われ、次の案内地の地図が表示されます(リクエスト案内)。



交差点案内表示をアローガイドに設定している場合は、次の案内地点部分にタッチして確認することもできます。



メモ

- ルートインフォメーションをタッチするたびに、最大5カ所先の案内地まで順に表示できます。

ルートを消去する

1 田ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 ルートにタッチします



3 ルート消去にタッチします



4 はいにタッチします




案内中のルートが消去されます。


安全運転情報を表示する

安全運転をサポートする情報（安全運転情報）を表示できます。

● 冠水注意地点

近年多発する集中豪雨によりアンダーパスなど道路が冠水する危険のある地点にマーク（)を表示できます。


● 一時停止地点

予想進路上にある一時停止地点上にマーク（)を表示できます。

● ゾーン30

都道府県警によって走行速度が30 km/h以下に制限されたエリア（「ゾーン30」）を地図上に表示できます。

● ヒヤリハット地点

運転に注意が必要な地点にマーク（)を表示できます。進行方向の情報がある場合は矢印も表示されます。

1 **NAVI**ボタンを押して現在地画面を表示します

2 画面上部中央のタブを下にドラッグします



インスタントメニューが表示されます。

3 **マルチレイヤ**にタッチします



4 にタッチします



5 **セーフティ**にタッチします



表示設定がONになります。また、設定項目のリストが切り換わります。

6 表示させたい項目にタッチし、チェックマーク（)をつけます



メモ

- **ヒヤリハット地点**と**一時停止地点**は、音声案内または案内音のON/OFFも設定できます。
- 地図画面上に表示するアイコンや情報の詳細については、『ユーザーズガイド』の「地図表示のカスタマイズ」をご確認ください。

渋滞情報を確認する

1 **NAVI** ボタンを押して現在地画面を表示します

2 **渋滞** にタッチします



ルート案内中にタッチした場合は、ルート上の渋滞情報を確認できます。



ルート未設定時にタッチした場合は、現在地周辺の規制情報を確認できます。



地図画面のメニュー操作

地図画面を表示中にタブや情報プレートをドラッグすると、素早く便利なメニューを呼び出すことができます。

インスタントメニュー

画面上部中央のタブを下にドラッグすると、次の5つのナビゲーションメニューを操作できます。

- よく行くランキング
- ビュー
- マルチレイヤマップ
- ルート
- ナビ設定

1 NAVIボタンを押して現在地画面を表示します

2 画面上部中央のタブを下にドラッグします



インスタントメニューが表示されます。

3 お好みのメニューにタッチして操作します



ショートカットメニュー

地点を検索したり地図をスクロールしたりすると、カーソル位置の地点情報(地点情報プレート)が画面下に表示されます。この地点情報プレートを上にドラッグすると、地点登録やカーソル位置の周辺施設の検索ができます。

1 地点を検索、または地図をスクロールして、お好みの地点にカーソルを合わせます

2 画面下部の地点情報プレートを上にドラッグします



ショートカットメニューが表示されます。



ここへ行く

カーソルの場所を目的地に設定します。

ここを登録する

カーソルの位置を登録します。

周辺施設を探す

カーソルの位置を中心として、周辺の施設を検索します。

場所を登録する

自宅や友人宅などによく行く場所や、旅先など景色がきれいで覚えておきたい場所を登録しておく、少ない操作で目的地や立寄地に設定できます。

メモ

- 自宅を含め1001地点まで登録できます。

1 **HOME**ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 画面を左にフリックしてNAVIメニュー画面を表示します

3 NAVIメニューで場所を検索します



地点確認画面が表示されます。



現在地を登録する場合は、画面の自転車位置にタッチして地点情報プレートを表示してください。

4 画面下部の地点情報プレートを上にドラッグします

ショートカットメニューが表示されます。

5 **ここを登録する**にタッチします



地点情報が登録され、登録内容画面が表示されます。

6 **登録内容**にタッチします



メモ

- 登録した場所の編集方法は、『ユーザーズガイド』の「登録した場所の編集」をご覧ください。

自宅を登録する

あらかじめ自宅を登録しておくで、自宅までのルートを簡単に設定できます。

1 自宅付近に車を停めます

2 田ボタンを押し、HOME画面を表示します

3 自宅にタッチします



4 はいにタッチします



自宅の場所が登録されます。

メモ

- 自宅を登録すると、「自宅」という名前と自宅マーク(アイコン)、ヨミとして「ジタク」が自動的に登録されます。
- マイセットアップで自宅も登録できます。➡「マイセットアップの設定」(P.12)
- 自宅の位置変更や削除方法は、『ユーザーズガイド』の「登録した場所の編集」をご覧ください。

ナビゲーションの機能を設定する

用途やお好みに応じて設定を変更して、ナビゲーションを使いやすくしましょう。

1 **HOME** ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 **ナビ設定** にタッチします



3 **地図設定** (地図設定) または **ナビ機能設定** (ナビ機能設定) にタッチします



4 設定が終わったら **閉じる** にタッチします

地図設定

*は出荷時の設定です。

設定項目	設定内容	設定値
ロゴマーク表示設定	地図画面上に表示するロゴマークを設定します。	—
ロゴマーク施設内駐車場表示	検索結果画面の施設および地図上にロゴマーク表示設定した施設に駐車場がある場合、施設のロゴマークと駐車場マークを同時に表示します。	ON* OFF
ロゴマーク表示スケール	ロゴマークや周辺検索の結果を表示する地図の表示スケールを設定します。	100mスケール以下 200mスケール以下 500mスケール以下 1kmスケール以下*
文字拡大表示	地図画面に表示される文字を大きく表示するかどうかを設定できます。	通常表示* 文字拡大
地図方位設定	地図表示の向きを設定します。	ノースアップ ヘディングアップ*
地図スケール登録	現在地表示中に NAVI ボタンを押した時の、地図のスケールを登録します。	—
ツインビュー左画面アングル	ツインビュー表示時の左画面のアングルを設定します。	2D 3D*
ハイウェイモードサイドマップアングル	ハイウェイモードのサイドマップのアングルを設定します。	2D* 3D
AVサイドビューアングル	AVサイドビューのサイドマップのアングルを設定します。	2D* 3D

設定項目	設定内容	設定値
オートハイウェイモード	有料道路走行時にビューモードを自動的にハイウェイモードに切り換えるか設定します。	ON* OFF
地図色切換	地図色が切り換わるタイミングを設定します。	時刻連動* イルミ連動 昼色固定
走行軌跡自動消去	走行軌跡を自動的に消去するように設定できます。	自宅付近 電源OFF時 OFF*
登録地マーク簡易表示	登録地マークを簡易的に表示するスケールを設定します。	500mスケール以上 1kmスケール以上 2kmスケール以上 簡易表示しない*

ナビ機能設定

*は出荷時の設定です。

設定項目	設定内容	設定値
有料道路使用条件	ルート探索時に、有料道の利用基準をあらかじめ設定できます。	標準* 回避
フェリー航路使用条件	ルート探索時に、フェリー航路の利用基準をあらかじめ設定できます。	標準* 優先 回避
学習ルート探索	学習したルートを考慮してルート探索するかを設定できます。	ON* OFF
渋滞考慮ルート探索	渋滞情報を取得済みの場合は、その情報を考慮してルートを探索できます。	渋滞情報・渋滞予測* 渋滞情報のみ 考慮しない
時間規制考慮ルート探索	日付や時刻による通行規制を考慮してルート探索するかを設定できます。	ON* OFF
スマートIC考慮ルート探索	スマートICを乗降ICの対象としてルート探索するかを設定できます。 ルート案内中は設定できません。	ON OFF*
車両情報考慮ルート探索	車両情報を考慮してルート探索するかを設定できます。	ON OFF*
ルートアドバイザー	新しい候補ルートを提供する際、学習したルートの情報や渋滞情報のうち、どの情報を考慮するかを設定します。	すべて考慮* 渋滞考慮のみ OFF
ルートアドバイザー自動決定ルート	ルートアドバイザーによる新ルートと元ルートの選択画面でタッチ操作が行われない場合に選択する、既定のルート候補を設定できます。	元ルート* 新ルート

ナビ機能設定(つづき)

設定項目	設定内容	設定値
到着予想時刻表示	ルート案内時に表示する情報を設定します。	目的地(到着時刻・残距離)* 立寄り地(到着時刻・残距離) 出発時刻・経過時間
到着予想時刻速度 (一般道)	渋滞考慮ルート探索設定で「考慮しない」に設定した際、一般道走行時での到着予想時刻を計算する基準速度を設定します。	20km/h 30km/h* 40km/h 50km/h 60km/h
到着予想時刻速度 (有料道)	渋滞考慮ルート探索設定で「考慮しない」に設定した際、有料道走行時での到着予想時刻を計算する基準速度を設定します。	60km/h/ 80km/h* 100km/h
交差点案内表示	一般道のルート案内時に表示される交差点案内表示を設定します。	拡大図* アローガイド
方面案内表示	一般道走行時に方面案内看板を表示するかを設定します。	ON* OFF
ETCレーン案内表示	有料道走行時にETCレーン案内を表示するかを設定します。	ON* OFF
料金案内	ルート案内中に通行にかかった、またはかかる有料道路の料金を音声で案内するかを設定します。	ON* OFF
オートフリーズーム	オートフリーズーム(現在地と直近の案内地との距離に合わせて地図スケールを自動的に変更する機能)のスケール範囲の設定をします。	100mスケール 50mスケール OFF*
リクエスト案内	ルート案内時に、ルートインフォメーションにタッチした際の案内方法を設定します。	音声案内・地図表示* 音声案内
信号機ジャスト案内	信号機を目印にした音声案内を行うかを設定します。	ON* OFF
一般道シンプル ガイド	通常の音声案内よりも回数と内容を少なくして、一般道のルート案内を行うかを設定します。	ON OFF*
AV画面への 割り込み	AV画面を表示中に割り込み表示させる内容(交差点案内表示、ビーコン情報(ITSスポットの5.8 GHz VICS情報)、ルートアドバイザーの情報)を設定します。	交差点案内表示* ビーコン* ルートアドバイザー*
有料道合流地点・ 県境案内	有料道走行時に合流地点と県境を音声で案内するかを設定します。	ON* OFF
踏切案内	前方に踏切がある場合に音声で案内をするかを設定します。	ON* OFF
右左折専用レーン 案内	前方の直進レーンが右折または左折レーンに変化する場合、案内をするかを設定します。	ON* OFF

設定項目	設定内容	設定値
リフレッシュ案内	2時間以上本機を連続して使用した場合、休憩を促す案内をするか設定します。	ON * OFF
ライト点灯案内	日が暮れるタイミングでライトの点灯を促す案内をするか設定します。	ON * OFF
オートパーキングメモリー	オートパーキングメモリーの保存および保存データ(履歴)を利用してルート探索を行うかを設定します。	ON * OFF
ビーコン即時表示	受信したビーコン情報 (ITSスポットの5.8 GHz VICS情報) から、即時に表示する情報の種類を設定します。	文字・図形・音声 * 文字・図形 図形 OFF
ビーコン即時表示時間	ビーコン即時表示をOFF以外に設定している場合に、ビーコン即時表示の表示時間を設定します。	5秒 10秒 * 15秒
渋滞情報表示対象道路	渋滞情報を表示する対象になる道路を設定します。	有料道・一般道 * 有料道のみ 一般道のみ 表示しない
渋滞情報点滅表示	渋滞・混雑・順調の情報を地図上に表示させる際、点滅表示させるかを設定します。	ON * OFF

音楽や映像を再生しよう

AVソースを切り換えて音楽や映像を楽しむことができます。

メモ

- CD、SD、TV、DVD などの音源や映像のことをAVソースと呼びます。

AVソースを切り換える

1 **[AV]** ボタンを押し、AVメニューを表示します

2 AVソースを選んでタッチします



選んだAVソースの画面(AVソース画面)に切り換わります。

Disc

挿入されているディスク(DVD、CD、ROMなど)を再生できます。

SD

SDカードに保存した音楽ファイルや映像ファイル、画像ファイルを再生できます。

FM/AM

ラジオが聴けます。

TV

ワンセグ放送を視聴できます。

Bluetooth Audio

Bluetooth機器内の音楽ファイルを再生できます。

USB1

USBメモリーに保存された音楽ファイル、映像ファイルや画像ファイルを再生または表示できます。

USB2/iPod

iPhone / iPodの音楽ファイルや、USBメモリーに保存された音楽ファイル、映像ファイルや画像ファイルを再生または表示できます。

AUX

ビデオカメラなどの外部機器の映像や音声を再生できます。

Drive Recorder

ドライブレコーダーの映像を表示したり、録画した動画を再生したりできます。

交通情報

幹線道路などで放送されているAMの交通情報を聴くことができます。

メモ

- **[USB1]**は、USBケーブル接続端子に次の外部機器を接続すると選択できます。
 - USBメモリー
 - ドライブレコーダー
- **[USB2/iPod]**は、USB接続端子(Type A)に次の外部機器を接続すると選択できます。
 - USBメモリー
 - iPhone
 - iPod
- **[Drive Recorder]**は、AUX設定を変更すると選択できます。➡「[ドライブレコーダーリンク機能について](#)」(P.73)

AVソースをOFFにする

1 四角ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 AV OFFにタッチします



AVソースを再生する

基本的なAVソースの操作方法について説明します。

メモ

● 各AVソースの操作方法は、『ユーザーズガイド』をご覧ください。

タッチキーで操作する

SDソースを例に説明します。

操作バー



タイムバー

本体のボタンで操作する



	トラックのアップ/ダウン (選曲) を行います。
	早戻し/早送りを行います。 (長く押す)



1つのメディア (ディスク、SD、USB) に、複数のファイルが混在している場合にタッチして、ファイルを切り換えます。

ディスク：
音楽ファイル、動画ファイル、オーディオ CD データ

SD、USB：
音楽、動画、画像の各ファイル



トラックアップ/トラックダウンを行います。

タイムバー

タッチした位置 (再生経過時間) から再生します。



操作バーを切り換えます。



リピート再生を行います。



ランダム再生を行います。

AVソース画面の見かた

AVソース画面では、以下の情報が表示されます。

メモ

- AVソースごとに表示される内容は異なります。

例：SD再生中の画面



ソース別設定を行う

ソース別設定とは、オーディオや映像に関する設定を行うためのメニューです。

1 **田**ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 **AV・本体設定**にタッチします



3 **田**→設定したい項目を選んでタッチします



DISC設定

DVD-Videoの字幕や音声、映像出力などの設定ができます。

DVD-VR、ROM-Videoは、TVアスペクトの設定ができます。

TV設定

ワンセグ放送に関する字幕や音声の設定ができます。

SD・USB設定


スライドショーの設定ができます。

AUX設定

本機に接続した外部機器やドライブレコーダーの入力設定ができます。

オーディオ設定

再生中の音源に合わせて設定を変更したり、お好みに合わせて音質を調整することができます。

1  ボタンを押して、HOME画面を表示します

2 AV・本体設定にタッチします



3  にタッチします



4 設定が終わったら  にタッチします

* は出荷時の設定です。

設定項目	設定内容	設定値
イコライザー	あらかじめ用意された5つの設定(ファクトリーカーブ)とお好みに調整した2つの設定(Custom 1、2)からイコライザーカーブを選ぶことができます。	S.Bass Powerful Natural Vocal Flat * Custom 1、2
フェーダー／バランス	前後左右の音量バランスを調整することができます。	0 ~ 25 (出荷時は0です。)
ミュート設定	ナビゲーションの音声案内時に、本機の音声をミュート(消音)にするか、音を小さくするか(ATT)を選ぶことができます。	ATT * Mute OFF
ソースレベルアジャスター	AVソースを切り換えたときに音量の違いが出ないように、FMの音量を基準にして各AVソースの音量の差を揃えることができます。	- 4 ~ + 4 (出荷時は0です。)
スピーカー出力レベル	各スピーカーからの出力レベルを調整することができます。リスニングポジションの設定値により、設定が異なります。	- 24 ~ + 10 (出荷時は0です。)
リスニングポジション	乗車位置や乗車人数に合わせて、聴く位置を選択することができます。	OFF * フロントL フロントR フロント オール

設定項目	設定内容	設定値
タイムアライメント	各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調整することで、音声の到達時間を補正し、音源の定位や全体的なバランスを調整することができます。	リスニングポジションの設定値により異なります。
オートサウンドレベライザー	走行速度に応じて音量をリアルタイムで自動補正し、快適な聴き心地を保ちます。 ※ 車速信号入力線を接続している際に機能します。	OFF * LOW MID-LOW MID MID-HIGH HIGH
バスブースト	低音を強調することができます。	0 ~ 6 (出荷時は0です。)
音場設定 (VSC)	好みの設定を選んで、さまざまな音響空間を再現できます。	OFF * MUSIC STUDIO DYNAMIC THEATER ACTOR'S STAGE RELAX LIVING
ラウドネス	音量レベルに応じて、聴き取りにくくなる低域と高域を聴こえやすくなるように強調することができます。	OFF * LOW MID HIGH
オートレベルコントロール	音源の違いによる音量の差を自動で一定に補正することができます。	OFF * MODE1 MODE2
サウンドレトリバー	SD、USB、iPod、ROM-Audio、Bluetooth AudioなどのAVソースで再生される圧縮音源は、人の耳では聴こえにくい音の成分がカットされてしまうため、デジタル信号処理により残されたデータから圧縮時に失われた音を補完して、音楽の持つ余韻や躍動感、広がり感のある音を復元して再生できます。 ※ 地上デジタルテレビ、FM、AM、交通情報受信中の場合には効果が得られません。	OFF * MODE1 MODE2

再生できるファイルとメディアの種類

本機では、次の条件に合ったファイルを再生することができます。

共通

メディア	CD-R/-RW	DVD-R/-RW	USBメモリー	SDカード
ファイルシステム	ISO9660 level 1 ISO9660 level 2 Romeo, Joliet UDF 1.02/1.50/ 2.00/2.01/2.50	ISO9660 level 1 ISO9660 level 2 Romeo, Joliet UDF 1.02/1.50/ 2.00/2.01/2.50	FAT16 FAT32	FAT16 FAT32 exFAT
最大フォルダー数	700		-	
最大ファイル数	999	3 500	-	

メモ

- ファイルをエンコード／ライティングしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。また、文字情報が正しく表示されないことがあります。
- 本機で画像データを含む音楽ファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- Windows Media Audio Voiceには対応していません。
- パケットライトデータ転送には対応していません。
- フォルダの選択順序やその他の操作は、エンコードしたソフトウェアおよび書き込んだソフトウェアによって変わってしまうことがあります。
- オリジナルディスクの曲間での無音部分の長さにかかわらず、圧縮オーディオのディスクの再生時は曲間に短い無音部分が生じます。
- ディスクに保存されているオーディオファイルの最大再生時間は60時間です。

MP3

メディア	CD-R/-RW	DVD-R/-RW	USBメモリー	SDカード
拡張子	.mp3		.mp3/.mka	
ビットレート	8 kbps ~ 320 kbps (CBR), VBR			
サンプリング周波数	16 kHz ~ 48 kHz(32 kHz/44.1 kHz/ 48 kHz)		8 kHz ~ 48 kHz	
ID3タグ	Ver.1.0/1.1/2.2/2.3		Ver.1.0/1.1/2.2/2.3/2.4	

メモ

- サンプリング周波数が32 kHz、44.1 kHz、48 kHzのMP3ファイルを再生する場合は、エンファシスに対応します (CD-R/-RW、DVD-R/-RWのみ)。
- 次のファイルには対応していません。
 - MP3i (MP3 interactive)
 - mp3 PRO
 - m3u プレイリスト

WMA

メディア	CD-R/-RW	DVD-R/-RW	USBメモリー	SDカード
拡張子	.wma			
ビットレート	5 kbps ~ 320 kbps (CBR), VBR			
サンプリング周波数	8 kHz ~ 48 kHz			

メモ

- この製品は、Windows Media™ Audio 9Professional、LosslessおよびVoiceとは互換性がありません。

WAV

メディア	CD-R/-RW	DVD-R/-RW	USBメモリー	SDカード
拡張子				.wav
シグナルフォーマット	再生することはできません。			リニア PCM(LPCM)
サンプリング周波数				8 kHz ~ 192 kHz
量子化ビット数				8 ビット/16 ビット/24 ビット

AAC

メディア	CD-R/-RW	DVD-R/-RW	USBメモリー	SDカード
拡張子	.m4a		.aac/.adts/.mka/.m4a	
ビットレート	8 kbps ~ 320 kbps (CBR)			
サンプリング周波数	8 kHz ~ 44.1 kHz		8 kHz ~ 48 kHz	

メモ

- iTunesでエンコードされたAACファイルを再生できます。

FLAC

メディア	CD-R/-RW	DVD-R/-RW	USBメモリー	SDカード
拡張子				.flac
量子化ビット数	再生することはできません。			8 ビット/16 ビット/24 ビット
サンプリング周波数				8 kHz ~ 192 kHz

JPEG

メディア	CD-R/-RW	DVD-R/-RW	USBメモリー	SDカード
拡張子	再生することはできません。			.jpg/.jpeg
最大解像度				4 000 × 4 000

オーディオおよびビデオファイルの互換性

CD-R/-RW/DVD-R/-RW

拡張子	.avi	.mpeg	.mpg	.dat
ビデオコーデック	MPEG-4	MPEG-1/ MPEG-2	MPEG-1/ MPEG-2	MPEG-1
オーディオ コーデック	MP3/AC-3	MP3		
最大解像度	720 ピクセル × 576 ピクセル (MPEG-4/MPEG-2) 352 ピクセル × 288 ピクセル (MPEG-1)			
最大フレームレート	30 fps			
最大ファイルサイズ	Don't Care(ファイルシステムの規格上最大サイズの規定なし)			

USB/SD

拡張子	.avi	.mp4	.3gp	.mkv	.mov
ビデオコーデック	MPEG-4/ H.264/ H.263/Xvid	MPEG-4/ H.264/ H.263	MPEG-4/ H.264/ H.263	MPEG-4/ H.264/VC-1/ Xvid	MPEG-4/ H.264/ H.263
オーディオ コーデック	リニア PCM (LPCM)/ MP3/AAC	MP3/AAC	AAC	MP3/AAC	MP3/AAC
最大解像度	1 920 ピクセル x 1 080 ピクセル				
最大フレームレート	30 fps				
最大ファイルサイズ	4 GB				

拡張子	.f4v	.flv	.vob	.asf	.wmv
ビデオコーデック	H.264	H.264	H.264/ MPEG-2	WMV/VC-1	WMV/VC-1
オーディオ コーデック	MP3/AAC	MP3/AAC	リニア PCM (LPCM)/ MP3/AAC	WMA	WMA
最大解像度	1 920 ピクセル x 1 080 ピクセル (ビデオコーデックが WMV の場合は 640 ピクセル x 480 ピクセル)				
最大フレームレート	30 fps (ビデオコーデックが WMV の場合は 15 fps)				
最大ファイルサイズ	4 GB				

メモ

- ビットレートによっては再生できない場合があります。
- 本機の使用状況によっては、正常に再生できない場合があります。

ライブインフォを使ってみよう

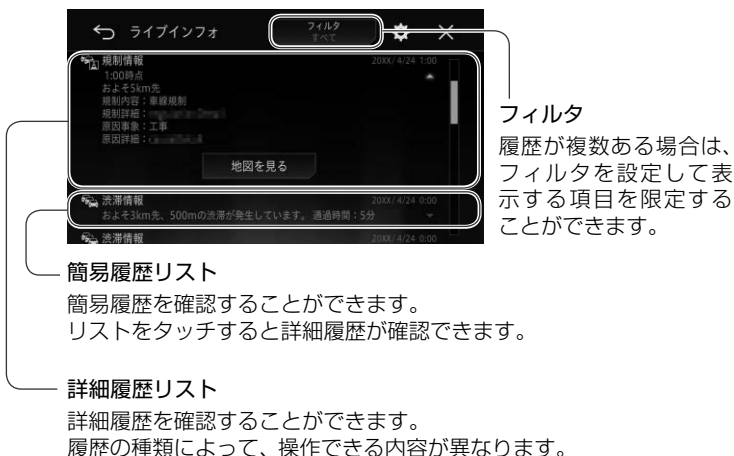
ライブインフォ通知画面の見かた

取得した渋滞情報や規制情報が通知されます。



ライブインフォ情報画面の見かた

過去の通知情報を確認できます。



ライブインフォ通知を設定する

通知内容をお好みに合わせて設定できます。詳しい設定方法は、『ユーザーズガイド』の「ライブインフォ」をご覧ください。

1 田ボタンを押して、HOME画面を表示します

2 AV・本体設定にタッチします



3 田 → ライブインフォ設定にタッチします



4 設定したい項目にタッチします



ライブインフォ使用設定

ライブインフォを使用するかどうかを設定できます。

音声再生設定

通知内容を音声再生するかどうかを設定できます。

AV画面への割り込み設定

通知内容をAV画面に割り込んで表示するかどうかを設定します。

通知種別設定

通知内容別に通知するかどうかを設定します。

過去のライブインフォ情報を確認する

過去の通知情報を確認できます。

1 田ボタンを押して、HOME画面を表示します

2 画面を左右にフリックしてLive Infoメニューを表示します

3 確認したい情報にタッチします



ライブインフォ情報画面を表示します。

メモ

- 履歴の保存件数は最大100件です。
- ライブインフォ通知画面やAV・本体設定からも履歴を確認できます。詳しい確認方法は『ユーザーズガイド』の「ライブインフォ」をご覧ください。

ハンズフリー通話を試みよう

Bluetooth接続された携帯電話と別売のハンズフリー用マイクを使って、ハンズフリー通話を行うことができます。

電話のかけかた

1 携帯電話を本機とBluetooth接続します

携帯電話を本機に登録していない場合は、登録を行ってください。➡「Bluetooth対応端末の登録」(P.14)

2 電話ボタンを押し、HOME画面を表示します

3 電話にタッチします



4 発信方法を選んでタッチします



プリセットダイヤルに登録した電話番号(相手)に、リストから素早く発信できます。



現在接続中の携帯電話の電話帳を表示し、選んだ相手に発信できます。



本機と携帯電話が接続中に発信または着信された電話番号の履歴をリスト表示し、選んだ番号に発信できます。



ダイヤル発信画面を表示し、10キーを使って電話番号を入力できます。



iPhoneを接続したときのみ使えます。Siriを呼び出し、携帯電話の電話帳に登録してある相手に発信できます。

メモ

- 携帯電話本体を操作して発信することもできます。
- 通話中の音量は、通話中のみ[音量]ボタンで調整できます。
- 電話帳の読み込みや、その他のメニューについては、『ユーザーズガイド』の「携帯電話(ハンズフリー)」をご覧ください。

電話の受けかた




1 電話を着信したら、電話にタッチします





通話が可能になり、着着信中メニューが表示されます。



ダイヤル画面を表示します。

ハンズフリー	ハンズフリー機能をON/OFFします。携帯電話機で通話したいときは、OFFにします。
マイク感度	マイクの感度を調整します。(自分の声が反響していると感じた場合に調整してください。)
	電話を受けることができます。
	電話を切ることができます。
	HOME画面または走行画面表示時に発着信中メニューを一時的に消すことができます。

メモ

- 発着信中メニューを一時的に消した場合は、にタッチすると再度発着信中メニューを表示できます。
- ステアリングリモコンの発話ボタンでも電話を切れます。
- 携帯電話で電話を切ることもできます。
- ハンズフリー機能をOFFにすると、携帯電話機能が使用できなくなる場合があります。
- 着信中または通話中の音量は、着信中または通話中のみ  ボタンで調整できます。

Siriを使って電話をかける

iPhoneのSiriを起動してからハンズフリー用マイクに話しかけることで、手で操作することなく電話をかけたい相手を選んで発信できます。

メモ

- 本機能は「iOS5.1以降」に対応しています。
- iOSのバージョンが6.0以上の場合は、Siriの動作モードがEyes Free Modeになります。

1 iPhoneを本機とBluetooth接続します

iPhoneを本機に登録していない場合は、登録を行ってください。➡「Bluetooth対応端末の登録」(P.14)

2 電話ボタンを押し、HOME画面を表示します

3 電話にタッチします



4 Siriにタッチします



5 マークが表示されたら、ハンズフリー用マイクに向かって発話します



音声認識されると、内容に合わせてSiriが動作します。

オプション品を使って本機をより楽しもう

本機には、次のオプション類が組み合わせられます。

▲注意

- 次の型番は代表例です。車種や条件によっては組み合わせできない場合もあります。詳しくは販売店へお問い合わせください。

ETCユニット

別売のETCユニット「ND-ETC8」などを接続すると、ETCカードの有効期限について音声でアナウンスしたり、ETCカードに記録されている利用履歴、ETCユニットの車載器管理番号を本機の画面で確認することができます。

メモ

- ETC割引料金表示には対応していません。

ETC2.0ユニット

別売のETC2.0ユニット「ND-ETCS1」などを接続すると、上記「ETCユニット」の機能に加えて、渋滞回避、安全運転支援等の情報提供サービスを利用することができます。また、ITSスポットを通して収集される経路情報を活用した新たなサービスを導入する予定です。

※本機はETC2.0のすべてのサービスのご利用を保証するものではありません。

メモ

- ETC割引料金表示には対応していません。

各種接続ケーブル

別売の各種接続ケーブルを使用すると、本機にiPodやiPhoneを接続して音楽を再生できます。ケーブルの種類について、詳しくは『取付説明書』-「システムの接続」をご覧ください。

リアモニター

別売の液晶TVモニター「TVM-FWシリーズ」/「TVM-Wシリーズ」/「TVM-PWシリーズ」を接続すると、走行中でも後席の同乗者はDVDVideoやTVなどを楽しむことができます。

▲注意

- リアモニター出力は、パーキングブレーキのON/OFFに関係なく映像が出力されます。リアモニター出力に接続したリアモニターは、走行中に運転者が映像を見られない位置に設置してください。

汎用バックカメラユニット

別売のRCA出力の汎用バックカメラユニット「ND-BC8Ⅱ」などを接続すると、駐車時に後方の映像を本機に表示させることができます。カメラ映像には駐車アシスト線を表示させることができます。また、車両に合わせて駐車アシスト線も調整できます。

ステアリングリモコンアダプター / ステアリングリモコンケーブル

別売のステアリングリモコンアダプターまたは、別売のステアリングリモコンケーブルを接続すると、純正ステアリングリモコン（装備車のみ）を使って本機の一部の操作をハンドルから手を放さずに行うことができます。

メモ

- 別売のステアリングリモコンアダプターまたは別売のステアリングリモコンケーブルの使用可能車種や、車両メーカー別型番については、カロッツェリアホームページでご確認ください。
< <http://carrozzeria.jp> >

ドライブレコーダーを使ってみよう

ドライブレコーダーユニット「VREC-DS600」(別売)を接続すると、本機を通して映像やメッセージの確認、およびドライブレコーダーユニット「VREC-DS600」の操作を行うことができます。

ドライブレコーダーリンク機能について

本機とドライブレコーダーユニット「VREC-DS600」を接続し、AUX設定を**Drive Recorder**にすると、次の機能を使うことができます。

- 録画時や静止画撮影時に、緯度経度・方位角・時速の情報を取得します。
- ナビゲーションのGPS機能を使って、自動的に年月日、時刻の情報を取得します。
- ドライブレコーダー本体のボタンと同じ操作をタッチ操作で行えます。
- セキュリティモード中に振動を検出すると、ナビゲーション起動時に通知メッセージでお知らせします。
- イベント撮影時(手動操作および衝撃検知時)にナビゲーション画面およびAVソース画面でメッセージを表示します。詳しくは『ユーザーズガイド』の「メッセージと対処方法」をご覧ください。
- ドライブレコーダーに異常が発生した場合にナビゲーション画面およびAVソース画面にエラーコードを表示します。詳しくは『ユーザーズガイド』の「メッセージと対処方法」をご覧ください。
- 接続状態画面でドライブレコーダーの接続状況を確認できます。

メッセージ表示時の例
(セキュリティ検知時の通知)：



メモ

- はじめて本機と接続したときは、本機のGPS測位またはセンサー学習完了までドライブレコーダーリンク機能が動作しないことがあります。
- 走行中はRECボタンのみ操作できます。ドライブレコーダーからの出力映像も表示されません。
- 緯度経度・方位角・時速の情報は撮影中の画面では確認できません。撮影後のファイルに表示されます。

1 田ボタンを押し、HOME画面を表示します

2 AV・本体設定にタッチします



3 **AUX設定**にタッチします



4 **Drive Recorder**にタッチします



▼
ドライブレコーダーリンク機能の設定が完了します。

メモ

- **Drive Recorder**に設定すると、AVメニュー画面の**AUX**が**Drive Recorder**に切り換わります。

ドライブレコーダーの映像を表示する

1 **AV**ボタンを押し、AVメニューを表示します

2 **Drive Recorder**にタッチします



▼
ドライブレコーダーの映像が表示されます。



画面にタッチすると、ドライブレコーダーを操作するためのタッチキーが表示されます。



メモ

- ドライブレコーダーユニット「VREC-DS600」の操作方法や内容については、「VREC-DS600」に付属の取扱説明書をご覧ください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、次の内容をチェックしてください。チェックしても直らないときは「保証書とアフターサービス」(⇒P.91)をお読みになり修理を依頼してください。

共通項目	
こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
電源が入らない、動作しない。	原因：エンジンがかかっていない。 処置：エンジンまたはACCをONにしてください。
	原因：ヒューズが切れている。 処置：ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。
	原因：接続ケーブルが正しく接続されていない。 処置：接続ケーブルが正しく接続されているかご確認ください。詳しくは『取付説明書』をご覧ください
	原因：周囲の温度が極度に低いまたは高い。 処置：本機には、使用温度範囲(⇒P.92)があります。使用温度範囲になるまで、エアコンなどで温度を調整してください。
画面に何も表示されない。	原因：Display OFF状態になっている。 処置：画面にタッチして、Display OFFを解除してください。
画質調整ができない。	原因：パーキングブレーキをかけていない。 処置：パーキングブレーキをかけてから操作してください。
画面に小さな黒い点や明るく光る点がある。	液晶特有の現象で、故障ではありません。
画面の残像が目立ったり、画質が劣化して見える。	原因：周囲の温度が極端に低い。 処置：周囲の温度が高まると通常画質に戻ります。
タッチキーまたはファンクションキーの表示が薄く、タッチしても反応しない。	原因：走行規制などで、走行中は操作できないタッチキーまたはファンクションキーにタッチしている。 処置：車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてから操作してください。
	原因：設定や接続状況などにより、操作できないタッチキーまたはファンクションキーにタッチしている。 処置：本書や『取付説明書』または『ユーザーズガイド』で設定や接続状態を確認してください。
本機とBluetooth対応端末をBluetooth接続できない。	原因：Bluetooth対応端末の登録をしていない。 処置：接続したいBluetooth対応端末を本機に機器登録してください。⇒「Bluetooth対応端末の登録」(P.14)

ナビゲーション	
こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
自転車位置を測位できない。	原因：GPSアンテナの上に電波をさげざる物を置いている。 処置：GPSアンテナの上には何も置かないでください。
	原因：GPS受信感度が低い。 処置：GPSアンテナの感度を確認して、GPSアンテナの取り付け位置を変更してください。車内に取り付けている場合は、必ず金属シートを使用してください。 詳しくは『取付説明書』をご覧ください。
測位誤差が大きい。	原因：3Dハイブリッドセンサーが正しく学習されていない。 処置：3Dハイブリッドセンサーのメモリーをリセットして、学習をやり直してください。 詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。
自転車位置が正しくない。	原因：自転車位置がずれている。 処置：GPS測位が可能な状態で、しばらく走行すると自転車位置が修正されます。
	原因：車速パルスが正しく入力されていない。 処置：接続状態画面で、接続を確認してください。 詳しくは『取付説明書』をご覧ください。
地図の向きが変わらない(自転車マークが上でない方向に向かう)。	原因：地図の向きがノースアップになっている。 処置：地図の向きをヘディングアップに変更してください。
走行を開始しても地図が動かない。	原因：現在地画面を表示していない。 処置： NAVI ボタンを押して、現在地画面にしてください。
ナビゲーションの案内音声が出ない。	原因：ナビゲーションの音量設定が0になっている。 処置：ナビゲーションの音量設定を調整してください。 ➡「ナビゲーション(案内・操作音)の音量」(P.24)
地図上にVICS情報が表示されない。	原因：受信したVICS情報は、表示されるまで数分かかることがある。 処置：表示されるまで、お待ちください。
	原因：VICSの受信感度が良くない。 処置：放送局を最も受信感度の良い放送局に変更してください。 詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。
ハンズフリー通話時に、通話相手側のエコー(残響音)が大きく聞こえる。	原因：通話相手の声(スピーカーからの音声)がマイクに入り込んでいる。 処置：エコーは相手の声が車両スピーカーを通してマイクに入り込むことが原因で発生するため、受話音量を小さくすることで改善できます。ただし、本機のしくみ上、完全にエコーをなくすことはできません。また、通話相手側が大きな声で喋るとさらに聞き取りにくくなりますので、普通の大きさの声で通話してください。

オーディオ共通項目	
こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
テレビやDVDなどの映像が見られない。	原因：走行中である。 処置：本機は、安全のため走行中にテレビやDVDなどの映像を見ることはできません。映像をご覧になる場合は、安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけて、お楽しみください。
	原因：パーキングブレーキコードを接続していない。 処置：パーキングブレーキコードを正しく接続してください。 詳しくは『取付説明書』をご覧ください。
音が出ない。	原因：オーディオの音量が0になっている。 処置：[VOL]を押して音量を調整してください。
音声案内時に、一時的にオーディオの音が途切れたり、聞こえづらくなる。	原因：ミュート設定がされている。 処置：ミュート設定を変更してください。➡「オーディオ設定」(P.62)
ハンズフリー通話の着信時に、一時的にオーディオの音が途切れる。	原因：本機がオーディオの音を消している。 処置：自動的に行われる処理で、故障ではありません。
前/後/左/右のスピーカーから音が出ない。	原因：前後左右の音量バランスの調整が適切でない。 処置：正しく調整・設定してください。 詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。

FM/AM	
こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
ラジオ受信中に“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	原因：放送局の電波が弱い。 処置：他の放送局を選局してください。 詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。
	原因：周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。 処置：受信状態の安定した場所に移動して、受信してください。
自動選局できない。	原因：強い電波の放送局がない。 処置：手動で選局してください。 詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。
FMは受信するが、AMが受信できない。 受信感度が悪い。	原因：アンテナコントロールが接続されていない。 処置：アンテナコントロールを正しく接続してください。 詳しくは『取付説明書』をご覧ください。
	原因：自動車のアンテナが伸びていない。 処置：アンテナを十分に伸ばしてください。

DVD	
こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
再生できない。	原因：本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。 処置：本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください。 詳しくは『ユーザズガイド』をご覧ください。
	原因：ファイナライズされていないディスクを挿入している。 処置：ファイナライズされたディスクを挿入してください。
ディスクを入れても自動的に再生しない。	原因：ディスクによっては、ディスクメニューが表示されて自動的に本編を再生しない場合がある。 処置：ディスクメニューを操作して、再生を開始するか、オートプレイをONに設定してください。 詳しくは『ユーザズガイド』をご覧ください。
音が出ない。	原因：静止画、スロー、コマ送り再生中である。 処置：静止画、スロー、コマ送り再生中に、音声を聴くことはできません。
視聴制限のメッセージが表示され、再生できない。	原因：視聴制限がかかっている。 処置：視聴制限を解除、またはレベルを変更してください。 詳しくは『ユーザズガイド』をご覧ください。
音声言語、字幕言語が切り換えられない。	原因：複数の言語が収録されていないDVDを再生している。 処置：複数の言語が収録されていないディスクでは、切り換えられません。
	原因：ディスクメニューでしか切り換えできないように制限されている。 処置：ディスクメニューで切り換えてください。
初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	原因：初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDを再生している。 処置：初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDでは、選んだ言語には切り換わりません。
アングルを切り換えて見ることができない。	原因：複数のアングルが収録されていないDVDを再生している。 処置：複数のアングルが収録されていないDVDでは、切り換えられません。
	原因：複数のアングルが収録されていない場面で操作している。 処置：複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。
ディスク再生中に映像が乱れる。 または暗い。	原因：ディスクコピー禁止信号が入っている。(ディスクによって入っている場合がある。) 処置：アナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出るものがあります。(故障ではありません。)
Ⓢ(禁止マーク)が画面に出て操作できない。	原因：ディスクが禁止している操作である。 原因：ディスクの構造上対応できない操作をしている。 処置：この操作はできません。
画面が止まり、操作を受け付けない。	原因：ディスク再生中にデータを読み取れなくなった。 処置： <input type="checkbox"/> にタッチしてから、もう一度再生してください。

CD、ROM (WMA/MP3/AAC)	
こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
CD-RやCD-RW、CD-ROMを再生できない。	原因：ディスクがファイナライズされていない。 処置：ディスクをファイナライズしてください。
WMA/MP3/AACファイルを再生できない。	原因：ファイルに正しい拡張子が付いていない。 処置：ファイルに正しい拡張子を付けてください。 ➡「再生できるファイルとメディアの種類」(P.64)
	原因：対応していないビットレートで記録されている。 処置：対応しているビットレートで記録されたファイルを再生してください。 ➡「再生できるファイルとメディアの種類」(P.64)
	原因：ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。 処置：ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。
WMA/MP3/AACファイル再生中に大きな雑音が出る。	原因：ファイルの形式と拡張子があていない。 処置：ディスクを交換してください（WMA形式でないファイルに「.wma」、MP3形式でないファイルに「.mp3」、AAC形式でないファイルに「.m4a」の拡張子を付けたCD-ROMを再生しないでください）。
聴きたいWMA/MP3/AACファイルが見つからない。	原因：ファイルに正しい拡張子が付いていない。 処置：ファイルに正しい拡張子を付けてください。 ➡「再生できるファイルとメディアの種類」(P.64)
フォルダー名やファイル名が正しく表示されない。	原因：ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。 処置：ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。
WMA/MP3/AACファイル再生が、記録した順と異なる。	原因：WMA/MP3/AACファイルは、記録したときの順番どおりに再生されない場合がある。 処置：ライティングソフトウェアによっては、フォルダー名、ファイル名のはじめに数字（01、02など）を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。

ワンセグTV	
こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
画面が止まっている。 画面がカクカクして映る、コマ落ちしている。 画面に正方形のノイズが映る。	原因：受信状態が悪くなった。 処置：受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。これらは地上デジタル放送特有の現象で、故障ではありません。
受信できない。	原因：ベストステーションズメモリー（BSM）をしていない。 処置：初めて使うときは、ベストステーションズメモリー（BSM）をしてください。 詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。
	原因：自車位置の移動により、受信中のチャンネル電波が弱くなった。 処置：受信環境が変わったときは、ベストステーションズメモリー（BSM）をしてください。 詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。
	原因：放送局（チャンネル）が増えたり、自車位置が他のエリアに移動して受信環境が変わった。 処置：受信環境が変わったときは、ベストステーションズメモリー（BSM）をしてください。 詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。
	原因：受信レベルが低下して、放送が受信できない。 処置：受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。
	原因：アンテナが正しく接続されていない。 処置：アンテナ接続を確認し、アンテナ端子にロッドアンテナが正しく接続されているか確認してください。 詳しくは『取付説明書』をご覧ください。

SD/USB	
こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
WMA/MP3/AAC/WAV/FLACファイルを再生できない。	原因：ファイルに正しい拡張子が付いていない。 処置：ファイルに正しい拡張子を付けてください。 ➡「再生できるファイルとメディアの種類」(P.64)
	原因：対応していないビットレートで記録されている。 処置：対応しているビットレートで記録されたファイルを再生してください。 ➡「再生できるファイルとメディアの種類」(P.64)
聴きたいWMA/MP3/AAC/WAV/FLACファイルが見つからない。	原因：ファイルに正しい拡張子が付いていない。 処置：ファイルに正しい拡張子を付けてください。 ➡「再生できるファイルとメディアの種類」(P.64)
保存した映像ファイルを再生すると、音声は出るが、映像が見えない。	原因：走行中である。 処置：走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。

こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
お持ちのコンピューターで認識しているSDカードが、本機で認識しない。	<p>原因：SDカードが正しくフォーマットされていない。</p> <p>処置：専用フォーマットソフトを使用し、フォーマットしてください。フォーマットをすると、SDカードに記録されたデータがすべて消去されます。必ずデータのバックアップを行ってください。フォーマットソフトは、SDアシエーションの、以下のホームページから入手できます。 https://www.sdcard.org/jp/</p>

iPhone / iPod	
こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
接続できない。	<p>原因：iPhone / iPod用接続ケーブル（別売）が正しく接続されていない。</p> <p>処置：接続ケーブルが正しく接続されているかご確認ください。詳しくは『取付説明書』をご覧ください。</p> <p>原因：お使いのiPhoneおよびiPodが本機に対応していない。</p> <p>処置：本機に対応しているiPhone / iPodをお使いください。</p>

Bluetooth Audio	
こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
再生できない。	<p>原因：Bluetooth機器登録をしていない。</p> <p>処置：Bluetooth Audioをお使いになるには、Bluetooth機器を本機に機器登録する必要があります。 ➡『Bluetooth対応端末の登録』(P. 14)</p> <p>原因：登録したBluetooth機器の設定がハンズフリー通話機能のみを使用する設定になっている。</p> <p>処置：Bluetooth Audioとして使用する設定に変更してください。詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。</p>
リピートやランダム再生ができない。	<p>原因：Bluetooth機器の接続プロファイルがA2DP+AVRCP Ver1.0以下である。</p> <p>処置：プロファイルによって操作できる機能や表示される内容に制限があります。詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。</p>

エラーメッセージと対処方法

共通項目	
エラーメッセージ	考えられる原因とその処置
走行中は操作できません。	原因：走行規制のかかった操作を行おうとした。 処置：車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてから操作してください。
ディスクメカに通信エラーが発生しました。DISCの出し入れができません。エンジンをかけ直してください。再度このメッセージが表示される場合は、パイオニア修理受付窓口にご相談ください。	原因：ディスクメカに異常が発生している。 処置：エンジンをかけ直してください。再度このメッセージが表示される場合は、パイオニア修理受付窓口にご相談ください。
スピーカーの配線、または本機に異常を検知しました。スピーカーの配線を確認してください。配線を確認後、メッセージが表示され続ける場合はパイオニア修理受付窓口にご相談ください。	原因：スピーカーの接続状態または本機に異常があり、保護回路が動作した。 処置：スピーカーの接続状態を確認後、エンジンをかけ直してもメッセージが消えない場合は、パイオニア修理受付窓口にご相談ください。
本機に異常を検出しました。一部機能が正常に動作しない可能性があります。パイオニア修理受付窓口またはカスタマーサポートセンターにご相談ください。	原因：本機内部の回路(測位・ハンズフリー等)に異常が発生している。 処置：パイオニア修理受付窓口またはカスタマーサポートセンターにご相談ください。

ナビゲーション	
エラーメッセージ	考えられる原因とその処置
探索できませんでした。	原因：目的地または出発地の場所が適切ではない。 処置：目的地または出発地の位置を変えてください。
付近にルート探索対象道路がありません。	
行き先が遠すぎるため、探索できませんでした。	
行き先が近すぎるため、探索できませんでした。	
通行規制により、通行できない区間があるため探索できませんでした。	

エラーメッセージ	考えられる原因とその処置
行き先につながる道路が見つからないため探索できませんでした。	原因：目的地または出発地の場所が適切ではない。 処置：目的地または出発地の位置を変えてください。
行き先または出発地付近にルート探索対象道路がないため探索できませんでした。	
日時データが無い場合、このルートは時間規制や渋滞予測情報を考慮していません。	原因：GPS衛星からの電波が受信できていない。 処置：本機の日時データはGPS衛星からのデータに基づいていません。GPS衛星からの電波を受信しやすい環境に移動してください。 詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。
自車位置修正できませんでした。	原因：自車位置を修正できる道路が周囲に見つからない。 処置：自車位置修正可能な道路（一般道路と有料道路が並行しているような道路）があるときに操作してください。

渋滞情報	
エラーメッセージ	考えられる原因とその処置
VICS情報が取得できませんでした。	原因：VICS情報を取得できていない。 処置：時間や場所をずらしてから、再度受信してください。
自車位置が案内中のルート上から外れているため、渋滞チェックできません。	原因：自車位置がルートにないために、渋滞の案内ができません。 処置：自車位置がルート上に表示されてから再度操作してください。

Bluetooth	
エラーメッセージ	考えられる原因とその処置
通信機器が接続されていません。	原因：携帯電話が接続されていない。 処置：携帯電話を接続してください。
選択機器に接続できませんでした。 選択機器のBluetoothがONになっていることをご確認ください。	原因：接続しようとしているBluetooth機器が、データ通信中である。 処置：データ通信終了後、再度操作してください。
インターネット共有/テザリング(PAN)を使用した回線の接続ができませんでした。	原因：何らかの原因で回線接続に失敗している。 処置：本機や接続機器をしばらくしてから再度操作するか、エンジンをかけ直してください。
Error-02	原因：Bluetoothモジュールが故障している可能性がある。
Error-03	処置：エンジンをかけ直してください。再度このメッセージが表示される場合はパイオニア修理受付窓口またはお買い上げの販売店にご相談ください。
Error-14	

SDカード	
エラーメッセージ	考えられる原因とその処置
このSDカードは使用できません。	原因：本機で使用できないSDカードを挿入した。 処置：本機が対応するSDカードをご確認ください。 ➡「仕様」(P.92)
	原因：SDカードが正しくフォーマットされていない。 処置：専用フォーマットソフトを使用し、フォーマットしてください。フォーマットをすると、SDカードに記録されたデータがすべて消去されます。必ずデータのバックアップを行ってください。フォーマットソフトは、SDアソシエーションの、以下のホームページから入手できます。 < https://www.sdcard.org/jp/ >

USB	
エラーメッセージ	考えられる原因とその処置
このUSB接続機器は使用できません。	原因：本機で使用できないUSB接続機器を接続した。 処置：本機が対応するUSB接続機器をご確認ください。 ➡「仕様」(P.92)
非対応のUSB機器が接続されました。	
USB HUBが検出されました。USB HUBは利用できません。	原因：USBハブが接続されている。 処置：USBハブを取り外してください。
過電流保護のため、USB1の接続を中止しました。今後そのUSB接続機器を本機に接続しないでください。その他のUSB接続機器を使用するにはエンジンをかけ直してください。	原因：USB接続している機器の消費電流が規定値を越えている。 処置：これらの機器を全て取り外してエンジンをかけ直してください。指定以外のUSB機器（ハードディスクやUSB扇風機など）は接続しないでください。
過電流保護のため、USB2/iPodの接続を中止しました。今後そのUSB接続機器を本機に接続しないでください。その他のUSB接続機器を使用するにはエンジンをかけ直してください。	

携帯電話

エラーメッセージ	考えられる原因とその処置
読み込みができませんでした。接続を確認してもう一度やり直してください。	原因：メールアドレスや電話番号が登録されている電話帳が存在しない。 処置：携帯電話の電話帳を確認してください。
電話帳/発信履歴の転送ができません。 携帯電話を確認してください。	原因：携帯電話側で電話帳転送のポップアップが表示されている状態で次の操作を行った。 —Noを選択した —何も操作せず一定時間経過した(デバイス依存) —Bluetoothを切断した 処置：携帯電話側の設定・表示を確認して、再度転送してください。

音楽ディスク

エラーメッセージ	考えられる原因とその処置
高温、または低温のため、再生できません。 ディスクを取り出してください。	原因：本機の内部温度が高い、または低い。 処置：ディスクを取り出し、内部温度が正常になるまでお待ちください。改善されない場合は、販売店またはカスタマーサポートセンターにご相談ください。
再生できないディスクです。	原因：本機で再生できないディスクを使用している。 処置：本機で再生できるディスクに交換してください。 詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。
温度異常のため、ディスク停止中です。	原因：本機の内部温度が高い、または低い。 処置：ディスクを取り出し、内部温度が正常になるまでお待ちください。改善されない場合は、販売店またはカスタマーサポートセンターにご相談ください。

映像ディスク

エラーメッセージ	考えられる原因とその処置
高温、または低温のため、再生できません。 ディスクを取り出してください。	原因：本機の内部温度が高い、または低い。 処置：ディスクを取り出し、内部温度が正常になるまでお待ちください。改善されない場合は、販売店またはカスタマーサポートセンターにご相談ください。
リージョンコードが違います。	原因：本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。 処置：本機のリージョン番号は“2”です。ディスクのパッケージなどでリージョンコード“2”を含むディスクに交換してください。 詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。
再生できないディスクです。	原因：本機で再生できないディスクを使用している。 処置：本機で再生できるディスクに交換してください。 詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。
オーディオフォーマットが対応していないため、音声再生できません。	原因：再生しようとしているファイルに本機では再生できないオーディオフォーマットが含まれている。 処置：本機で再生可能なオーディオフォーマットを確認してください。 ➡「再生できるファイルとメディアの種類」(P.64)

エラーメッセージ	考えられる原因とその処置
著作権保護されているため、再生できません。	原因：再生しようとしているファイルが著作権保護されている。 処置：本機ではDRM（デジタル著作権管理）付きのファイルの再生には対応していません。

ワンセグTV	
エラーメッセージ	考えられる原因とその処置
このチャンネルを再生できません。 リトライしますか？	原因：正常に受信できていない。 処置：電波状況の良い場所で、ベストステーションズメモリー（BSM）をしてください。 詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。
受信できません。	原因：ベストステーションズメモリー（BSM）をしていない。 処置：初めて使うときは、ベストステーションズメモリー（BSM）をしてください。 詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。
受信できません。 ／チャンネルが表示されませんでした。	原因：自車位置の移動により、受信中のチャンネル電波が弱くなった。 処置：受信環境が変わったときは、ベストステーションズメモリー（BSM）をしてください。 詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。
	原因：放送局（チャンネル）が増えたり、自車位置が他のエリアに移動して受信環境が変わった。 処置：受信環境が変わったときは、ベストステーションズメモリー（BSM）をしてください。 詳しくは『ユーザーズガイド』をご覧ください。
	原因：受信レベルが低下して、放送が受信できない。 処置：受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。
	原因：アンテナが正しく接続されていない。 処置：アンテナ接続を確認し、アンテナ端子にロッドアンテナが正しく接続されているか確認してください。 詳しくは『取付説明書』をご覧ください。

iPhone / iPod	
エラーメッセージ	考えられる原因とその処置
このUSB接続機器は使用できません。	原因：お使いのiPhoneおよびiPodが本機に対応していない。 処置：本機に対応しているiPhone / iPodをお使いください。
Error-02-60	原因：何らかの原因で本機とiPhoneおよびiPodの間の認証が失敗した可能性がある。 処置：エンジンをかけ直してください。一度iPhoneおよびiPodを本機から取り外し、iPhoneおよびiPodが問題なく動作していることを確認してから再接続してください。
Error-02-61	
USB接続機器から応答がありません。	

取り扱い上のご注意

液晶画面の正しい使いかた

取り扱い上のご注意

- 市販の液晶保護フィルムを貼ると、タッチパネルでの操作に支障が出ることがあります。
- 液晶画面は使用温度範囲内でお使いください。➡「仕様」(P.92)
- 直射日光の当たる状態で長時間使用すると、高温になり、液晶画面が故障する恐れがあります。できる限り直射日光が当たらないようにしてください。
- 故障する恐れがありますので、液晶画面を強く押さないでください。
- キズや汚れの原因になりますので、液晶画面に触れるときは、必ず指先で触れてください。

液晶画面について

- 液晶画面の中に小さな黒い点や明るく光る点(輝点)が出ることがあります。これは、液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

LEDバックライトについて

- 周辺温度が低い状況でお使いになる場合は、液晶の特性上残像が目立ちやすくなり画質が劣化することがあります。周辺温度が高まれば通常画質に戻ります。

- 真夏の炎天下や、エアコンの温風が直接モニター部に当たってモニター部が高温状態になると、LED保護のため、自動的にバックライトの明るさを絞る場合があります。
- LEDバックライトの寿命は1万時間以上ですが、高温下でお使いになると寿命が短くなる場合があります。
- LEDバックライトが寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店または修理受付窓口にご連絡ください。

お手入れについて

- 液晶画面に付いたホコリや液晶画面の汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかいきれいな布でから拭きしてください。
- 液晶画面を拭くときは、ツメで引っかかないように注意してください。画面にキズが付くと映像が見づらくなります。
- 濡れたぞうきんや化学ぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

ディスクの正しい使いかた

取り扱い上のご注意

- ディスクは、信号記録面（虹色に光っている面）を触らないように持ってください。
- ディスクにキズを付けしないでください。
- ディスクにシールなどを貼らないでください。
- ディスクには、市販のラベルなどを貼りつけてしないでください。
 - － ディスクに反りが生じて、再生できなくなる原因になります。
 - － 再生中にラベルがはがれると、ディスクが取り出せなくなり、本機の故障の原因になります。
- ディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- レーベル面に印刷ができるディスクを使用するときは、ディスクの説明書や注意書きを確認してください。ディスクによっては、挿入または取り出しができないものがあります。そのようなディスクを使用すると、本機の故障の原因になります。

メモ

- 製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

お手入れについて

- ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。



- アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。

保管上のご注意

- 直射日光の当たるところや高温になるところには、ディスクを保管しないでください。

- － 直射日光や高温など、車内での保管状況により、ディスクは再生できなくなる場合があります。

ディスク再生の環境について

- 走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。
- 寒いとき、ヒーターを入れた直後にディスク再生を始めると、本機内部の光学系レンズやディスクに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、1時間ほど放置して自然に露が取れるまでお待ちください。ディスクに付いた露は柔らかい布で拭いてください。
- 高温になると保護機能が働き、ディスク再生が停止します。

使用できないディスクについて

- 次のようなディスクは使用しないでください。ディスクによっては、挿入または取り出しができないものがあります。そのようなディスクを使用すると、本機の故障の原因になります。表紙に記載されているマークが付いたディスクをお使いください。マークは、ディスクのレーベル面やパッケージ、またはジャケットに記録されています。

- － DualDisc
- － 8 cmディスク（アダプター装着時も含む）
- － CD 規格外ディスク
- － ひび、キズ、反りのあるCD



- － 特殊形状のディスク



- － シールなどを貼ったディスク



再生できないディスクについて

- 次のようなディスクは、再生できないことがあります。
 - － 音楽用CDレコーダーまたはコンピューターで記録したディスク

- ファイナライズされていないディスク
- パケットライトで記録されたディスク
- ハイビジョン画質 (AVCHD/AVCREC規格) で記録されたディスク
- NTSC (日本のテレビ方式) 以外の方式で記録されたDVD
- リージョン番号が「2」や「ALL」以外のDVD
- レイヤージャンプレコーディング方式で記録されたDVD
- 「再生できるファイルとメディアの種類」(➡P.64) に適合しないディスク

DVD-R/RWディスクの再生に対応していることを示しています。

RW
COMPATIBLE

SDカードに関するご注意






本機で使用したSDカードには、「NAVIDATA」フォルダーが自動的に作成される場合があります。

USB機器に関するご注意

- USB機器の取り扱いについて詳しくは、それぞれの説明書をお読みください。
- 本機との組み合わせで使用時に携帯デジタルプレーヤーやUSBメモリーのデータなどが消失した場合でも、その補償については責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、USB機器は必ず固定してください。USB機器が落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。

DVDに表示されているマークの意味

DVDビデオディスクのレーベル面やパッケージには、次のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
	音声の数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングルの数を表します。
	画面サイズ (アスペクト比: 横と縦の比率) の種類を表します。
	再生可能な地域番号 (リージョン番号) を表します。本機のリージョン番号は、「2」です。リージョン番号が「2」や「ALL」など「2」を含んでいるディスクを再生できます。

メモ

- DVDビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合や再生できない場合があります。

■DVD-VRについて

次のロゴは、本機がビデオレコーディングフォーマット (VRモード) で記録された

本機との接続について

- USBメモリー、USBオーディオプレーヤー以外 (USB扇風機など) は接続しないでください。
- USB機器を本機に接続する際は、指定のUSB接続ケーブル以外は、使用しないでください。
- 接続するUSB機器によっては、ラジオにノイズの影響を与えることがあります。
- USBハブを使用しての接続には対応していません。

保管上のご注意

- USB機器を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

iPod に関するご注意

取り扱い上のご注意

- iPodを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、iPodは必ず固定してください。iPodが落下して、プレー

キペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。

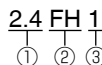
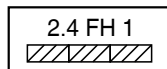
著作権について

- iPodは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

電波に関するご注意

- 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また本機は日本国内のみで使用できます。
- 下記の事項を行うと法律に罰せられることがあります。
 - * 分解/改造すること。
 - * 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。
- 本機の無線機能は、2.4 GHz の周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジなど）が使用していますので、電波の干渉により、本機の無線機能の音声がとぎれたり聞きとりにくくなることがあります。また、他の機器の動作や性能に影響を及ぼすことがあります。本機は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の内容に注意してください。
 - * 無線LANを利用したAV機器・防犯機器などを使用している環境で、本機の無線機能を使うと、音声がとぎれたり、無線LAN機器の動作に大きな影響を与えることがあります。
- その他、下記の機器でも、2.4 GHz の周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、音声がとぎれたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。
 - * 火災報知機・ワイヤレスAV機器（テレビ、ビデオ、コンピューターなど）
 - * 工場や倉庫などの物流管理システム・鉄道車両や緊急車両の識別システム
 - * マイクロ波治療器・ゲーム機のワイヤレスコントローラ

- * 自動ドア・万引き防止システム（書店やCDショップなど）
- * 自動制御機器・その他、Bluetooth®対応機器やVICS（道路交通網システム）
- * アマチュア無線局など



- ①「2.4」GHz 帯を使用する無線設備を表します。
 - ②「FH」変調方式を表します。
 - ③「1」想定される干渉距離（約 10 m）を表します。
- 本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることを確かめの上、ご購入の際に販売店より受け取ってください。保証書に記入漏れがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

修理について

本機は持ち込み商品のため出張修理は承っておりません。引き取り修理サービスをご利用ください。（お車から取り外していただいた状態での引き取りとなります。また送料はお客様ご負担となります。）修理時に、登録地点のユーザーが消去される場合があります。データについての保証はご容赦ください。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付窓口にご連絡ください。連絡先については、裏表紙の「修理についてのご相談窓口」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店または修理受付窓口にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

車からの脱着（お取り外し・お取り付け）について

弊社修理拠点へのお持ち込みは、製品をお車から取り外した状態で、お願いいたしております。なお、修理・点検時における本製品のお車からの脱着費用の負担、及び脱着作業は承っており

ません（保証期間内含む）。販売店、または取付店にご相談ください。

補修用性能部品の最低保有期間

弊社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

ただし、各種通信機能および関連サービス、他社サービスを利用している機能については通信網等の状況により最低6年間保持できない場合があります。

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

仕様

共通部

使用電圧：DC14.4 V (10.8 V ~ 15.1 V 使用可能)

最大消費電流：10 A

アース方式：マイナスアース方式

使用温度範囲：- 10 °C ~ + 60 °C

GPS 部

受信方式：72 チャンネルマルチチャンネル受信方式

オーディオ部

最大出力：50 W × 4

負荷インピーダンス：4 Ω (4 Ω ~ 8 Ω 使用可能)

13 バンドグラフィックイコライザー：

周波数：50/80/125/200/315/500/800/
1.25 k/2 k/3.15 k/5 k/8 k/12.5 k [Hz]

調整幅：± 12 dB (2 dB/step)

デコーダー：リニアPCM

Bass boost：0 dB ~ +12 dB

スピーカーセッティング：

調整幅：- 24 dB ~ + 10 dB (1 dB/step)

タイムアライメント：0 cm ~ 350 cm (2.5 cm/step)

外部入出力

[RCA/AUX部]

映像入出力レベル(リアモニター OUT)：

1.0 Vpp ± 10 % (signal: White 100 %)

外部音声最大入力レベル(AUX)：2.0 Vrms以下

DVD プレーヤー部

リージョンNo.：2

対応メディア：DVD (VIDEO MODE、VR MODE)、
DVD-R (DL)、DVD-RW、CD-ROM、CD-DA、
CD-R/RW

デコーディングフォーマット：

MP3：MPEG-1、2、2.5 AUDIO LAYER-3

WMA：Ver.7、8、9 (2 ch audio)

AAC：MPEG-4 AAC (Ver.10.01.22 以前の
iTunes でエンコードされたもののみ)

AVI：MPEG-4 Video + MP3、MPEG-4 Video +
AC3

周波数特性：

(DVD 値)：16 Hz ~ 22 000 Hz (± 1 dB)

(CD 値)：20 Hz ~ 20 000 Hz (+0.1 dB/- 1.0 dB)

S/N：

(DVD 値)：100 dB (1 kHz) (IHF-A ネットワーク)

(CD 値)：100 dB (1 kHz) (IHF-A ネットワーク)

ダイナミックレンジ：

(DVD 値)：97 dB (1 kHz)

(CD 値)：94 dB (1 kHz)

高調波歪率：0.009 % (1 kHz)

FM チューナー部

受信周波数帯域：76.0 MHz ~ 99.0 MHz

音声：ステレオ

AM チューナー部

受信周波数帯域：522 kHz ~ 1 629 kHz (9 kHz)

音声：モノラル

地上デジタルTV チューナー部

放送方式：地上デジタル放送方式

受信チャンネル：470 MHz ~ 710 MHz (UHF
13 ch ~ 52 ch)

モニター部

画面サイズ：7V型ワイドVGA

画素数：1 209 600画素 [水平840 X 垂直480 X
3 (RGB)]

方式：TFTアクティブマトリクス方式

バックライト：LED光源

SDカード部

フォーマット：Ver.3.0

最大メモリ容量：512 GB (SDXC 使用時)

ファイルシステム：FAT16/FAT32/exFAT (SDXC
使用時)

デコーディングフォーマット：

MP3：MPEG-1、2、2.5 AUDIO LAYER-3

WMA：Ver.7、8、9 (2 ch audio)

AAC：MPEG-4 AAC (Ver.10.01.22 以前の
iTunes でエンコードされたもののみ)

FLAC: Ver1.3.0(Free Lossless Audio Codec)
MPEG4 (MP4) : MPEG-4 Video + AAC、
H.264/AVC + AAC

AVI: MPEG-4 Video + MP3、MPEG-4 Video +
AC3

WMV: WMV (VC-1) + WMA

シグナルフォーマット:

WAV: LPCM

USB部

対応メディア: USB2.0 High Speed

最大電流: 1.5 A(type-A)

最大メモリ容量: 16 GB

ファイルシステム: FAT16/FAT32

デコーディングフォーマット:

MP3: MPEG-1、2、2.5 AUDIO LAYER-3

WMA: Ver.7、8、9 (2 ch audio)

AAC: MPEG-4 AAC (Ver.10.01.22 以前の
iTunes でエンコードされたもののみ)

FLAC: Ver1.3.0(Free Lossless Audio Codec)

MPEG4 (MP4) : MPEG-4 Video + AAC、
H.264/AVC + AAC

AVI: MPEG-4 Video + MP3、MPEG-4 Video +
AC3

WMV: WMV (VC-1) + WMA

シグナルフォーマット:

WAV: LPCM

USB CLASS: MSC (MASS STORAGE CLASS)

Bluetooth部

Bluetoothバージョン: Bluetooth4.1

出力(BR/EDR): 最大+4 dBm (Power class2)

外形寸法

本体取付寸法:

178 (W) mm × 100 (H) mm × 165 (D) mm

本体ノーズ寸法:

171 (W) mm × 97 (H) mm × 21 (D) mm

地上デジタルTV (ワンセグ用) ロッドアンテナ:

270 (W) mm × 17 (H) mm × 9 (D) mm

GPS アンテナ:

33 (W) mm × 36 (H) mm × 14 (D) mm

質量

2.2 kg

付属品

GPS アンテナ: 一式*

TV用アンテナ: 一式*

取付キット: 一式*

コード類: 一式*

取扱説明書: 1

取付説明書: 1

保証書: 1

※: 接続・取り付け部品の詳細につきましては、『取付
説明書』をご覧ください。

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

- (1) VICS サービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICS サービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者
- (4) VICS デスクランブラー
FM多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICS サービスの種類)

第4条 VICS サービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICS サービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契約

94 (契約の単位)

第6条 当センターは、VICS デスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICS デスクランブラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとなります。

(VICS サービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者がVICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有するVICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 1 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

2 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 1 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。

2 当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはありません。

(免責)

第17条 1 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。ただし、当センターは当該変更においても変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2 VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

別表 視聴料金

視聴料金：300円(税抜き)

ただし、車載機購入価格に含まれております。

商標・著作権など

- 本機は、電気通信事業法および電波法に基づく設計認証を取得しています。



T D16-0161001

R 007-AE0173

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。



- 本機は、ロヴィコーポレーションの米国特許および他の知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。
- Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国および/またはその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品は、米国 Microsoft Corporation が所有する技術を使用しています。また、米国 Microsoft Licensing Inc. の許可を得ずに使用または頒布できません。
- MP3とは「MPEG Audio Layer 3」の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送*で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送*で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ <http://www.mp3licensing.com> をご覧ください。
*営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送(地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア)、インターネットを使った放送やデータ転送、インターネットを始めとするネットワーク、あるいはハイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。
- MacintoshおよびiTunesは、米国および他の国々で登録されたApple Inc. の商標です。
- iPhone、iPod、iPod classic、iPod nano、iPod touch、およびLightningは米国および他の国々で登録されたApple Inc. の商標です。iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。

Made for
 iPhone | iPod

- Made for Appleマークの使用に関して、パッケージ内に記してあるアップル製品に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定されたアクセサリであることを示します。

アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

このアクセサリをアップル製品と使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

- Android、Google PlayはGoogle Inc.の商標です。
- 「VICS」および「VICS WIDE」は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。




- SDXC ロゴはSD-3C, LLC の商標です。



- Bluetooth[®]ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、パイオニア株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有者が所有する財産です。



-  はDVDフォーマットロゴライセンスング(株)の商標です。



- QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- FSKARENは、富士ソフトの登録商標です。
- NaviConは株式会社デンソーの登録商標です。
- 本製品に収録されたデータ及びプログラムの著作権は、弊社及び弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、別途規定されている場合を除いて、いかなる形式においてもこれらのデータ及びプログラムの全部または一部を複製、改変、解析などすることはできません。

- この製品に含まれるブラウザの改変及び複製、この製品から分離させる行為は、行ってはいけません。
- 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- Entier (エンティア)は、株式会社日立製作所の日本国及びその他の国における商標です。

1. 最終需要家は、特定の1台の装置にのみ添付ソフト複製物を複製できるものとします。
2. 最終需要家は、添付ソフト複製物の全部又は一部を第三者に対し、有償であると無償であることを問わず、譲渡、使用許諾その他の方法で使用させてはならないものとします。
3. 最終需要家は、添付ソフト複製物の全部又は一部を逆アセンブル若しくは逆コンパイル又は改変することはできないものとします。
4. 最終需要家は、第1項に定める場合を除き、添付ソフト複製物の全部若しくは一部を複製し、又は他のプログラムと結合してはならないものとします。
5. 最終需要家が添付ソフト複製物の全部若しくは一部を単独で又は他の製品と組み合わせ、直接又は間接に次の各号のいずれかに該当する取扱いをする場合、最終需要家は、「外国為替及び外国貿易法」の規制及び米国輸出管理規則等外国の輸出関連法規を確認の上、必要な手続をとるものとします。
 - (1) 輸出するとき。
 - (2) 海外へ持ち出すとき。
 - (3) 非居住者へ提供し、又は使用させるとき。
 - (4) 前3号に定めるほか、「外国為替及び外国貿易法」又は外国の輸出関連法規に定めがあるとき。

注1：上記の「最終需要家許諾条項に記載すべき事項」の内容については、第5条第3項及び第4項の場合には本別紙中「添付ソフト複製物」とあるのを「本件装置用組込用ランタイム」に、第6条第2項の場合には本別紙中「添付ソフト複製物」とあるのを「結合添付ソフトウェア」にそれぞれ読み替えるものとします。

注2：第6条第1項第3号又は同条第2項第2号の規定に基づき添付ソフト改良版に係る最終需要家許諾条項を本別紙に従い甲が作成する場合、本別紙中「添付ソフト複製物」とあるのを「添付ソフト改良版」と読み替えるものとします。

- その他、製品名などの固有名词は各社の商標又は登録商標です。
- お客様が録音(録画)したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 弊社は、本製品に収録された地図データなどが完全・正確であることを、及び本製品がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。
- 本機は日本国内専用です。GPSの測位範囲が異なる外国ではご使用頂けません。
- 本製品の仕様及び外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。また、取扱説明書の内容と実物が異なることがあります。その場合における本製品の改造、またはお取り換えのご要望には応じかねます。

索引

キーワード

い

一時停止地点..... 42,49
インスタントメニュー... 41,44,49,51

お

オーディオ設定..... 62
オートリルート..... 47

か

拡張事象規制..... 42
冠水注意地点..... 42,49

き

起動モード..... 12

く

区間旅行時間..... 42

け

携帯電話メニュー..... 34
現在地画面..... 40

し

渋滞..... 42
渋滞情報..... 50
渋滞情報(渋滞・混雑)..... 42
渋滞情報(順調)..... 42
情報ウィンドウ..... 42
ショートカットメニュー..... 51

す

スカイビュー..... 44
スケール変更..... 42
ステアリングリモコン..... 16
ステアリングリモコンアダプター... 72
ステアリングリモコンケーブル... 72
ステータスバー..... 40

そ

走行軌跡..... 42
ソース別設定..... 61
ゾーン30..... 42,49

ち

駐車場情報マーク..... 42

つ

ツインビュー..... 44

と

時計..... 42
ドライブレコーダー..... 73

な

ナビ設定..... 34

の

ノーマルビュー..... 44

は

ハイウェイモード..... 44
バックカメラユニット..... 71
ハンズフリー通話..... 69

ひ

ヒヤリハット地点..... 42,49

ふ

ファンクションキーサイズの変更... 38
ファンクションキーの移動..... 37
ファンクションキーの並べ替え... 37

ま

マイセットアップ..... 12

ら

ライブインフォ..... 67

り

リアモニター..... 71
リクエスト案内..... 48

る

ルートアドバイザー..... 48

れ

連携アプリ..... 17

ろ

ロゴマーク..... 42

A

AVサイドビュー..... 42,44
AVソース..... 58
AV・本体設定..... 34
AVメニュー..... 33

B

Bluetooth対応端末..... 14

D

Display Off..... 27

E

ETC2.0ユニット..... 71
ETCユニット..... 71

H

HOME画面..... 32

L

Live Infoメニュー..... 33

N

NaviCon..... 17
NAVIメニュー..... 32

V

VICS WIDE..... 42
VICS規制情報..... 42

数字

100mスケール一方通行..... 42

タッチキー / ファンクションキー

あ

案内音量設定..... 24

い

イコライザー..... 62

位置初期化..... 38

一般道シンプルガイド..... 56

う

右左折専用レーン案内..... 56

お

オートサウンドレベライザー .. 63

オートパーキングメモリー .. 57

オートハイウェイモード..... 55

オートフリーズーム .. 56

オートレベルコントロール..... 63

音場設定 (VSC) .. 63

音声再生設定..... 68

か

学習ルート探索..... 55

き

機器登録/消去 .. 14

け

検索履歴 .. 32

こ

広域..... 43

交差点案内表示..... 56

交通情報 .. 33,58

ここへ行く..... 51

ここを登録する..... 51,52

さ

サウンドレトリバー .. 63

し

時間規制考慮ルート探索..... 55

自宅..... 32,53

車両重量 .. 15

車両情報考慮ルート探索..... 55

車両情報設定..... 15

ジャンル .. 32

住所..... 32

渋滞..... 50

渋滞考慮ルート探索 .. 55

渋滞情報点減表示 .. 57

渋滞情報表示対象道路..... 57

周辺検索 .. 32

周辺施設を探す .. 51

詳細..... 43

信号機ジャスト案内 .. 56

す

ステアリングリモコン設定..... 15

スピーカー出力レベル..... 62

スマートIC考慮ルート探索 .. 55

せ

セーフティ..... 49

そ

走行軌跡自動消去 .. 55

総排気量 .. 15

ソースレベルアジャスター .. 62

た

タイムアライメント .. 63

ち

地図色切換..... 55

地図スケール登録 .. 54

地図設定 .. 54

地図方位設定..... 54

駐車制限(車種) .. 15

駐車制限(車両寸法)..... 15

つ

ツインビュー左画面アングル .. 54

通常モード..... 12

て

店頭展示モード..... 12

電話 .. 32,69

電話番号 .. 32

と

到着予想時刻速度 .. 56

到着予想時刻表示 .. 56

登録地 .. 32

登録地マーク簡易表示..... 55

な

ナビ機能設定..... 55

ナビ設定 .. 32,36,54

ナビ設定初期化..... 36

ね

燃料単価 .. 15

は

ハイウェイモード

サイドマップアングル .. 54

バスブースト..... 63

ハンズフリー..... 70

ひ

ビーコン即時表示 .. 57

ビーコン即時表示時間..... 57

微調整 .. 43

ビュー .. 32,44

ふ

フェーダー/バランス..... 62

フェリー航路使用条件..... 55

踏切案内 .. 56

ほ

方面案内表示..... 56

ま

マイク感度..... 70

マイセットアップ .. 12

マルチレイヤ..... 41,49

マルチレイヤマップ .. 33

み

ミュート設定..... 62

め

名称検索 .. 32

も

文字拡大表示..... 54

ゆ

有料道合流地点・県境案内..... 56

有料道路使用条件 .. 55

有料道路料金区分 .. 15

よ

よく行くランキング .. 32

ら

ライト点灯案内..... 57

ライブインフォ使用設定..... 68

ライブインフォ設定 .. 68

ラウドネス..... 63

り	
リクエスト案内.....	56
リスニングポジション.....	62
リフレッシュ案内.....	57
料金案内.....	56

る	
ルート.....	32
ルートアドバイザー.....	55
ルートアドバイザー自動 決定ルート.....	55
ルート消去.....	48

ろ	
ロゴマーク施設内駐車場表示... ..	54
ロゴマーク表示スケール.....	54
ロゴマーク表示設定.....	54

A	
AUX.....	33,58
AUX設定.....	61,74
AV OFF.....	32,59
AV画面への割り込み.....	56
AV画面への割り込み設定.....	68
AVサイドビューアングル.....	54
AV情報.....	32
AV・本体設定.....	32
AV・本体設定初期化.....	35

B	
Bluetooth Audio.....	33,58
Bluetooth設定.....	14

C	
CLOSE.....	21,22

D	
Disc.....	32,58
DISC設定.....	61
Drive Recorder.....	33,58,74

E	
EJECT/TILT.....	21,22,26,32
ETCレーン案内表示.....	56

F	
FM/AM.....	33,58

H	
HOMEに移動.....	37

I	
iPod.....	33,58

M	
Mute.....	25

S	
SD.....	33,58
SD・USB設定.....	61

T	
TV.....	32,58
TV設定.....	61

U	
USB1.....	33,58
USB2.....	33,58

記号・マーク一覧 ※記号やマークは、ビューやスケールによって表示されない場合があります。
 ※実際の色と異なる場合があります。

地図関連	
高速・有料道	ヒヤリハット地点マーク
国道	道の駅
主要地方道	空港
都道府県道	ヘリポート
一般道	フェリー乗り場
細街路	観光船乗り場
鉄道	タワー
県境	灯台
国道番号	墓地
県道番号	公共施設
C1 有料道道路番号	警察署
一方通行	消防署
海・川・湖沼	病院
公園・緑地・芝生など	郵便局
施設敷地	NTT
施設	高校
駅舎	小学校
ゾーン30	中学校
緊急情報	大学
拡張事象規制	高専
インターチェンジ/ランプ名	自動車関連施設
交差点名	温泉
ランプ入口	遊園地・その他
ランプ出口	乗馬クラブ
信号機	キャンプ場
指示点	ボウリング場
山岳	スポーツ施設
公園	ゴルフ場
工場	その他スポーツ施設
トンネル出入口	野球場・スタジアム
マンション	体育館
サービスエリア	スキー場
パーキングエリア	海水浴場
インターチェンジ	ヨットハーバー
料金所・スマートICゲート	モータースポーツ
駐車場	テニスコート
一時停止	美術館・博物館
冠水注意地点マーク	動物園
	植物園
	水族館
	ホール・劇場
	神社
	寺
	教会
	城
	牧場
	競馬場
	デパート
	DIYショップ
	ホテル
検索・ルート関連	
有料道路施設の誘導ポイント	進入禁止
目的地	通行止め・閉鎖
立寄地	大型通行止め
出発地	対面通行
案内地	片側交互通行
案内中ルート(有料道)	徐行
案内中ルート(一般道)	車線規制
案内中ルート(細街路)	チェーン規制
駐車場入口案内ポイント	凍結
オートパーキングメモリー	故障車
地図収録案内ポイント	工事
	作業
	事故
	障害物・路上障害
	入口制限
	入口閉鎖
	気象
	行事
	災害
	火災
	原因/事象なし
	気象速報
	災害速報
渋滞情報関連	
一般道	有料道
渋滞	渋滞
混雑	混雑
順調	順調
VICS渋滞情報(現況)	
渋滞	渋滞
混雑	混雑
順調	順調
VICS渋滞情報(統計)	
渋滞	渋滞
混雑	混雑
順調	順調
規制・原因情報	
規制区間	規制区間
入口閉鎖・通行止	入口閉鎖・通行止
速度規制	速度規制
その他	
駐車場(空車)	駐車場(空車)
駐車場(混雑)	駐車場(混雑)
駐車場(満車)	駐車場(満車)
駐車場(閉鎖)	駐車場(閉鎖)
駐車場(不明)	駐車場(不明)
臨時駐車場(空車)	臨時駐車場(空車)
臨時駐車場(混雑)	臨時駐車場(混雑)
臨時駐車場(満車)	臨時駐車場(満車)
臨時駐車場(閉鎖)	臨時駐車場(閉鎖)
臨時駐車場(不明)	臨時駐車場(不明)
区間旅行時間	区間旅行時間
特別警報	特別警報(緊急情報)

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる電話番号は、携帯電話・PHS一部のIP電話などからは、ご使用になれません。

携帯電話・PHSからは、ナビダイヤル、またはIP電話をご利用下さい。(通話料がかかります)

正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただいておりますので発信者番号の通知にご協力いただきますようお願いいたします。

商品についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

パイオニア商品の取り付け組み合わせなどについては、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

●商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター

■電話 《カーオーディオ／カーナビゲーション商品》

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00(日曜・祝日・弊社休業日は除く)

【固定電話から】 **0120-944-111**(無料) 【携帯電話・PHSから】 **0570-037-600**(ナビダイヤル・有料)

上記の電話番号がご利用いただけない場合**050-3820-7540**(IP電話・有料)

※カーナビゲーションの訪問宅電話番号検索機能に関する個人情報の削除などはこちらの窓口で承っております。

《オーナーズリンク登録相談》

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00(日曜・祝日・弊社休業日は除く)

【固定電話から】 **0120-702-383**(無料) 【携帯電話・PHSから】 **0570-037-601**(ナビダイヤル・有料)

上記の電話番号がご利用いただけない場合**050-3820-7541**(IP電話・有料)

■ファックス **0570-037-602** (ナビダイヤル・有料)

■インターネットホームページ <https://jpn.pioneer/ja/support/>

※商品についてよくあるお問い合わせ・お客様登録など

修理についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。

それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理受付窓口

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00(土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)

■電話 【固定電話から】 **0120-5-81028**(無料) 【携帯電話・PHSから】 **0570-037-610**(ナビダイヤル・有料)

上記の電話番号がご利用いただけない場合**050-3820-7550**(IP電話・有料)

■ファックス **0120-5-81029**(無料)

■インターネットホームページ <https://jpn.pioneer/ja/support/purpose/repair/>

※インターネットによる修理のお申し込みを受け付けております。

部品のご購入についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

●部品(付属品、取扱説明書など)のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00(土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)

■電話 【固定電話から】 **0120-5-81095**(無料) 【携帯電話・PHSから】 **0570-057-140**(ナビダイヤル・有料)

上記の電話番号がご利用いただけない場合**050-3820-7551**(IP電話・有料)

■ファックス **0120-5-81096**(無料)

■インターネットホームページ <https://jpn.pioneer/ja/support/purpose/parts/flow/>

※FAXでご注文の際は上記ホームページの付属品購入の流れを参照のうえ、付属品注文票をダウンロードしてご利用ください。

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.07

パイオニア株式会社

〒113-0021

東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコート

© パイオニア株式会社 2018

< KHTZ18J > < CRA5218-A >

